

# 令和3年 教育委員会

## 第3回 定例会 議事日程

令和3年2月24日（水）

### 第1 議 案

#### 【子ども施設課】

- (1) 議案第4号「千代田区立学校施設使用条例施行規則の一部を改正する規則」

### 第2 協 議

#### 【文化振興課】

- (1) 文化財について【秘密会】

#### 【子ども総務課】

- (1) 令和2年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

### 第3 報 告

#### 【子ども総務課】

- (1) 令和3年度 当初予算案

#### 【子ども施設課】

- (1) お茶の水小学校・幼稚園の施設整備について

#### 【指導課】

- (1) いじめ、不登校、適応指導教室の利用状況等（1月）

### 第4 その他

#### 【子ども総務課】

- (1) 教育委員会行事予定表
- (2) 広報千代田（3月5日号）

#### 【児童・家庭支援センター】

- (1) 子ども虐待防止マニュアルの配付について

## 学校施設使用条例施行規則一部改正について

### 1 改正理由

プール入場券については、区内プール開放施設でどこでも利用できるようになっている。(所管課：子ども施設課、生涯学習・スポーツ課、高齢介護課)

しかし、これまで入場券の還付については、各所管課独自で還付処理をしていた。財政課・総務課及び各所管課で協議し、還付しない方法について統一的な処理方法を定め、施行規則の一部改正することとしたい。

#### 【今後の取り扱い】

#### (1) 当日券

①払戻→**購入当日**に限り払い戻す。

当日券はその日に限り有効であり翌日以降は無効と考え還付しない

#### (2) 回数券

①還付→未使用のものに限らず一部使用済みの回数券も還付

②還付金額算出方法→販売金額－(販売金額÷10)×使用済み枚数

現状の回数券は、11枚で10回分の値段で販売している。

### 2 改正する規則の新旧対照表

別紙1のとおり

### 3 施行期日

改正施行規則

令和3年4月1日から施行する。

議案第4号

千代田区立学校施設使用条例施行規則の一部を改正する規則

千代田区立学校施設使用条例施行規則（昭和62年千代田区教育委員会規則第2号）の一部を次のように改正する。

新（改正後）	旧（現行）
<p>（使用料の還付等） 第10条（現行に同じ） 2 回数券の還付を受けようとする者は、前項の使用料還付請求書に還付を受けようとする回数券（表紙が切り離されていないものに限る。）を添付しなければならない。 3 条例第6条ただし書の規定により使用料を還付しない場合及びその額は、次の各号に定めるところによる。 （1）から（6）まで（現行に同じ） <u>（7） 入場券の還付を当該入場券を購入した日の翌日以降に申し出たとき。 既納の使用料の全額</u> <u>（8） 回数券の還付に当たり、回数券の販売額から当該販売額を10で除した額に使用済枚数を乗じて得た額を減じた額が零以上となる場合に該当するとき。 回数券の販売額を10で除した額</u></p>	<p>（使用料の還付等） 第10条（略） 2 条例第6条ただし書の規定により使用料を還付しない場合及びその額は、次の各号に定めるところによる。 （1）から（6）まで（略）</p>
<p>備考</p> <p>1 改正後の欄中下線が引かれた部分（以下「改正後部分」という。）に対応する改正前の欄中下線が引かれた部分（以下「改正部分」という。）がない場合には、当該改正後部分を加える。</p> <p>2 改正部分に対応する改正後部分がない場合には、当該改正部分を削る。</p> <p>3 改正部分に対応する改正後部分がある場合には、当該改正部分を当該改正後部分に改める。</p>	

附 則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

(案)

令和2年度  
教育に関する事務の管理及び執行  
の状況の点検及び評価（令和元年度分）  
報告書

令和3年3月  
千代田区教育委員会

# 令和2年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検 及び評価(令和元年度分)報告書

## 目 次

1	はじめに .....	1
2	点検・評価の方法等について .....	2
	(1) 教育委員会の基本計画等における目標と施策	
	(2) 点検・評価対象事業等の選定	
	(3) 点検評価の実施方法	
3	対象事業一覧 .....	4
	(1) 教育委員会の重点事業	
	(2) 教育・子育てに関する課題	
4	有識者意見.....	7
5	各事業についての評価及び今後の取組.....	16
6	あとがき.....	20
	資料1 教育委員会の活動.....	21
	資料2 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価実施要綱 .	31

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正（平成19年6月改正 平成20年4月1日施行）に伴い、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

本報告書は、法律の規定に基づき、千代田区教育委員会が令和元年度の事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行ったものです。

今回の点検評価を踏まえ、より一層効果的で区民に信頼される教育行政を推進していきます。

## 2 点検・評価の方法等について

### (1) 教育委員会の基本計画等における目標と施策

区は、総合計画である「ちよだみらいプロジェクト（平成27年～令和6年度）」において、37の「施策の目標」を掲げている。この目標は、区の将来像を具体化するために実現をめざすもので、教育委員会は、関連する下記の目標について、重点的に取り組む内容を定めている。

#### 《施策の目標22》 ちよだみらいプロジェクト：P66・67

保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境を整えます

- 【主な取り組み】・待機児童ゼロ対策（保育園・学童クラブ）
- ・民間事業者支援（保育園・学童クラブ）
  - ・児童施設の整備

#### 《施策の目標23》 ちよだみらいプロジェクト：P68・69

安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます

- 【主な取り組み】・子ども・子育てに関する総合相談
- ・児童の虐待防止・早期発見
  - ・子どもを支援するための給付

#### 《施策の目標25》 ちよだみらいプロジェクト：P72・73

他者を思いやり、人との関係をより良く築く力を共に育む教育を進めます

- 【主な取り組み】・心の教育の推進
- ・多様な体験活動の充実
  - ・子どものいじめ防止対策
  - ・個に応じた指導の充実

#### 《施策の目標26》 ちよだみらいプロジェクト：P74・75

グローバル社会で活躍する資質・能力を育て、主体的・協働的・創造的に生きる力を身に付ける質の高い教育を進めます

- 【主な取り組み】・きめ細かな指導の推進
- ・健康・食育・体力向上プランの推進
  - ・国際教育の推進
  - ・伝統文化理解教育の推進

《施策の目標27》 ちよだみらいプロジェクト：P76・77

児童・生徒が安全にのびのびと成長できる環境を整えます

【主な取り組み】・教育施設の整備

- ・児童の安全確保の取り組み
- ・子どもの遊び場確保の取り組み

## (2) 点検・評価対象事業等の選定

令和元年度主要施策の成果（地方自治法第233条第5項に基づく）に掲載する教育委員会所管26事業の中で、特に重点的に取り組んでいる事務事業等について実施する。また、「教育・子育てに関する課題」として、千代田区における都心区特有の教育・子育てに関する課題についても、成果・課題を分析する。

## (3) 点検評価の実施方法

教育に関し学識経験を有する者の中から、教育委員会が委嘱する「点検及び評価に関する有識者」の知見の活用を図りながら行う。教育委員会でその結果を取り纏め、報告書を作成し、議会に提出するとともに、ホームページ等により区民に公表するものとする。

### ① 点検及び評価に関する有識者 名簿

氏名	役職
明石 要一	千葉敬愛短期大学学長
湯川 嘉津美	上智大学総合人間科学部教授
武内 志穂	株式会社三菱総合研究所参事
日永 龍彦	山梨大学大学教育センター教授

### ② 有識者会議の開催状況

	開催年月日・会場	概要
第1回	令和2年11月6日 会場：九段小学校	1 令和2年度 実施方針等の説明 2 評価対象事業の説明 ・私立保育所等整備関連事業 3 あい・あい保育園三番町園の視察 4 質疑応答 5 今後の日程について
第2回	令和2年12月11日 会場：番町小学校	1 番町小学校授業視察（ICT教育の推進） 2 評価対象事業の説明・質疑応答 ・ICT教育の推進 ・教育・子育てに関する課題 3 今後の日程について



### 3 対象事業一覧

#### (1) 教育委員会の重点事業

事業名	事業概要
① 私立保育所等整備関連事業	<p>「千代田区次世代育成支援計画」による保育の供給計画に基づき、区内の保育需要の高い地域に私立認可保育所を整備する保育所設置運営事業者に対し、保育所整備に関する経費の支援を実施</p> <p>自己評価：本誌P 5</p>
② ICT教育の推進	<p>タブレット型PCや電子黒板機能付きプロジェクター等の配置や、ICTサポーターを配置し、ICT機器を活用した授業の指導補助や、教材・学習資料の作成・活用、情報モラルの研修など、効果的なICT教育の実践を計画的に支援</p> <p>自己評価：本誌P 6</p>

#### (2) 教育・子育てに関する課題

検討項目	課題
<p>児童・生徒数の増による今後の本区の教育について（学区域の見直し、学校選択制など）</p>	<p>小学校 学区域に基づく学級編成により、学校施設面で教室の確保が困難な状況である。</p> <p>中学校 近年の生徒数の増加や選択校の偏りにより、一部の中学校では、学級編制に支障を来し、子どもたちの教育環境が損なわれている状況もある。</p>

● 私立保育所等整備関連事業【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境を整えます
------------------------	----------------------------------

事業概要	内容	「千代田区次世代育成支援計画」による保育の供給計画に基づき、区内の保育需要の高い地域に私立認可保育所を整備する保育所設置運営事業者に対し、保育所整備に関する経費の支援を行っています。 令和元年度は、私立認可保育所が4月に2園、10月に1園の計3園開園し、令和2年4月開園の私立認可保育所3園、令和3年4月開園の私立認可保育所1園の開園準備を行ったほか、区有地を活用した保育所及び賃借物件による保育所の運営事業者を募集し、合わせて7園（定員489名）の開設計画を推進しました。
	事業開始年度	(1) 平成22年度 (2) 令和元年度

		予算現額		決算額		執行率	
事業費・コスト		(1) 私立保育所等整備補助（私立保育所）		1,190,680,000円	851,031,836円	71.5%	
		(2) 保育所用地の整備		91,752,000円	10,980,210円	12.0%	
	コスト単位	(1) 補助1件あたり		( 5 件 )			
		(2) 整備1件あたり		( 1 件 )			
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
		(1)	170,206,367円 [98.2%]	3,078,085円 [1.8%]	173,284,452円	[100.0%]	
	(2)	10,980,210円 [93.1%]	810,022円 [6.9%]	11,790,232円	[100.0%]		

事業実績	○令和元年度実績						
	(1) 私立保育所開園						
	①千代田せいが保育園	平成31年4月1日開園	定員51名				
	②ベネッセ内神田保育園	平成31年4月1日開園	定員60名				
(2) 私立保育所等整備補助							
①保育園神田ベアーズ	令和元年10月1日開園	定員72名	125,058,034円				
②あい・あい保育園三番町園	令和2年4月1日開園	定員50名	170,402,316円				
③平河町ちとせ保育園	令和2年4月1日開園	定員60名	286,439,610円				
④ほっぺるランド外神田	令和2年4月1日開園	定員87名	258,331,876円				
⑤(仮称)岩本町ちとせ保育園	令和3年4月1日開園予定	定員70名	10,800,000円				
※保育園神田ベアーズへの補助額には、負担金を含みます。							
(3) 保育所用地の整備 旧高齢者センター建物の解体設計を実施							
※関係者との合意形成に時間を要したため、着手を予定していた解体工事が遅れ、執行率が低くなりました。							
(4) 今後の私立保育所開設計画							
①(仮称)外神田かなりや保育園	令和3年4月1日開園予定	定員50名					
②(仮称)まなびの森保育園神保町	令和4年4月1日開園予定	定員100名					

3 事業年度実績予算現況への対応	保育の供給計画による保育所整備を進めるとともに、保育所の整備工事にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大の防止に努めながらも、適切な進捗管理を行う必要があります。 令和3年度は、令和2年度に引き続き、区有地を含む私立保育所の開設準備を進め、待機児童ゼロの継続をめざします。
------------------	---

所管課 子ども部 子育て推進課	決算参考書	H31予算の概要	31頁
-----------------	-------	----------	-----

## ● ICT教育の推進

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		グローバル社会で活躍する資質・能力を育て、主体的・協働的・創造的に生きる力を身に付ける質の高い教育を進めます				
事業概要	内容	平成26年度に導入したタブレット型PCや電子黒板機能付きプロジェクターを活用するとともに、各学校を高速ブロードバンドで接続し、その回線スピードを活かして、児童・生徒が共に教え合い学び合う協働学習を実践しています。また、ICTサポーターを配置して、ICT機器を活用した授業の指導補助や、教材・学習資料の作成・活用、情報モラルの研修など、効果的なICT教育の実践を計画的に支援します。				
	事業開始年度	平成14年度（平成26年度からICT教育の推進として拡充）				
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率	
	(1) 小学校管理費分	179,008,000円	175,722,555円	98.2%		
	(2) 中学校管理費分	46,733,000円	45,780,845円	98.0%		
	(3) 中等教育学校管理費分	70,268,000円	66,553,749円	94.7%		
	コスト単位	(1) 児童1人あたり	( 2,957人 )			
		(2) 生徒1人あたり	( 640人 )			
		(3) 生徒1人あたり	( 923人 )			
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)
	(1)	59,426円 [97.7%]	1,370円 [2.3%]	60,796円 [100.0%]		
	(2)	71,533円 [91.9%]	6,328円 [8.1%]	77,861円 [100.0%]		
(3)	72,106円 [91.1%]	7,021円 [8.9%]	79,127円 [100.0%]			
事業実績	○令和元年度実績 タブレット型PCや電子黒板機能付きプロジェクター等の配置により、各校におけるICT機器を活用した授業が増え、児童・生徒の学習に対する関心や意欲が向上しました。 (1) 各校の端末台数 神田一橋中学校218台（1人1台）、九段中等教育学校280台 他の小・中学校（9校）80～160台（学校規模による） (2) 令和元年度の活用例 ①タブレットPCや書画カメラを用いてプレゼンテーション能力の向上を図る学習 ②英語の授業でスピーキングソフトを活用した学習 ③自ら集めた情報を整理・分析し、発表を行う主体的・対話的な学習 (3) ICTサポーターの派遣（1校あたり） 小学校年間53日、中学校年間53日、九段中等教育学校、学校休業日を除く週2～3日 (4) ICT教育の推進に関する研修会など ①情報教育主任会 各学校より1名が集い「教育の情報化の推進」について情報共有と課題解決に向けた協議を実施 ②校内研修…必要に応じて適宜実施					
	3 事業実績を踏まえた 年度及び現況との対応 学校間および教員間のICT機器を活用した指導力の格差等に課題があります。また、ICTを活用した、より効果的な指導方法や指導体制の在り方を引き続き検証する必要があります。 令和2年度当初の新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる臨時休校に伴い、児童・生徒の学びを保障する手段の一つとして、児童・生徒と学校がオンラインでつながることができる学習ツールを導入・活用し、各校にて双方向のオンライン学習が可能となる教育環境を整備しました。新たに構築したこの環境も活用し、さらに、「1人一台端末の整備」、「校内通信環境の整備」を推進し、オンライン学習のみでなく、学校におけるICT教育の充実を視野に入れた、本区におけるGIGAスクール構想を加速化していきます。 令和3年度は、区立小中学校のICT教育システムリプレースにおいて、現在の環境をさらに発展させ「校内通信環境の高速化」、「クラウドを活用した柔軟な学習」等、主体的・対話的で深い学びにさらに対応・活用できるGIGAスクール構想を実現していきます。					
所管課	子ども部 指導課、九段中等教育学校経営企画室	決算参考書	H31予算の概要	65頁		

## 4 有識者意見

明石要一（千葉敬愛短期大学）

### 1 主要施策の成果における重点事業

#### (1) 私立保育所等整備関連事業

《 評価 》

千代田区は保護者のニーズに正面から取り組んでいる。認証保育所が抱える問題をキャッチして、認可保育所の設置に取り組んでいるが、用地確保に苦しんでいることは理解できる。保護者が求める「質」の保障が課題となる。

職員のスキルアップの研修は一年に5回と着実に行われている。今後は「保育の質」を高めるために区立・私立の合同の職員研修システムを作る必要がある。

ほかの区では見られない、人口増に向けた「保育所」の確保に計画的に取り組んでいる。

《今後の取組み》

保育と幼稚園の合同の取組みは行われている。今後は保育と小学校の「接続」をどう構築するかが課題になる。

千代田区は大学が多くある。大学のキャンパスは広いので「大学内での保育所」の設置は検討できないだろうか。千葉大学は10年前からキャンパス内に教職員用の委託の保育所を設置している。佐倉市は千葉敬愛短期大学内に6年前から保育所を設置している。

私立保育所では、年長、年中さんの広い「遊び場」をどう確保するか、課題となる。区立幼稚園の園庭の共用はできないだろうか。

#### (2) ICT教育の推進

《 評価 》

千代田区のICT教育は、全国の先端をいっている。GIGAスクール構想の二年前から、タブレット1人1台の計画をしていたことは、高く評価できる。今回見せてもらった番町小学校の事例では、数多くのソフトを導入していた。そのソフトも、子ども部が学校と連携しながら責任をもって決めている。子どもたちはそれぞれが自分のペースに合わせて学んでいた。中教審が提案している「個別最適化された学び」をまさに先取りしている。課題は、教員研修のあり方である。ICTのスキルでは教員のスキルの個人差は無視できない。スキ

ルギャップをどう埋めるか、の研究のあり方が課題になる。と同時に、教科によって、どこでタブレットを使い、どの場面で板書するか、という授業展開のあり方も問題になってくる。また、どこまでペーパーレスが可能かも検討課題になる。

#### 《今後の取組み》

個別最適化された学びの成果をフォローしていく、ことが大切になる。これまでの学習方法では何ができなかったか、新たに何を獲得したか、が解明できればよいだろう。個別に学んだ成果をどう集団の中で共有化していくか、明らかにしてほしい。

## 2 教育・子育てに関する課題（千代田区における都心区特有の教育・子育てに関する課題）

#### 《 評 価 》

学校選択の先発区は品川区である。小学校が40校ある。保護者は何を基準に学校を選択しているか、調査したことがある。二つの基準を持っている。一つは、学校のホームページを見て判断する。ホームページで低い評価を受けると他の小学校に行く。ただし、高い評価を受けても他の学区からの転入はあまりない。小学校はまだ地域を大切にしている。しかし、ホームページがだめなら、ほかの学校の選択を考える。二つ目が、口コミである。保護者達の噂である。論より証拠で小中学生版のオープン・キャンパスを行い、生の姿をじっくり見てもらう。保護者や地域の人たちに学校を開いて、様々な情報を提供するのである。

#### 《今後の取組み》

千代田版の小中一貫校を設置する。できたら、軽井沢か、千葉の房総に拠点校を作る。五年生以上は全寮制にする。寮の舎監に優秀な人を置く。教師は月から金曜日勤務で、土曜日・日曜日は帰宅する。教科によってはオンラインの授業を行う。対面とオンラインを併合したハイブリットな授業も行う。

トヨタとJR東海と中部電力が共同で作った海陽中等教育学校の全寮制が参考になる。

## 3 総評

千代田区は子育てから教育に至るまで、全国の先取りをしている、ことが高く評価できる。先取には「勇気」と「決断」が求められるが、果敢に推し進める視点が良い。

狭い空間での保育所の設置も試みている。学校ではGIGAスクールの構想の先にチャレンジし、個別最適な学びの育成に努めている。それぞれ課題もみられるが、それらは先取を進めるから見えてくるものである。例えば、保育所設置では大学とのコラボが考えられる。タブレットの学びでは、教師の研修をどう進めればよいか、などが浮かんでくる。これからも、意欲的でチャレンジな施策を進めてほしい。

湯川嘉津美(上智大学)

## 1 主要施策の成果における重点事業

### (1) 私立保育所等整備関連事業

#### 《 評価 》

千代田区では、待機児童ゼロを達成するため、保育所の増設を進めている。近年では、私立認可保育所の整備に力を入れ、保育の量的拡大のみならず、質の保証にも努めている。新設の私立認可保育所の施設・設備も概ね良好であり、千代田区の保育所整備の取り組みを高く評価することができる。

#### 《 今後の取組み 》

今後も保育需要の高い地域への私立認可保育所の整備を進めていただきたいが、その際、子どもたちの屋外での活動機会を十分に確保する取り組みが求められる。また、周辺住民への配慮の必要から、現在は保育所が地域と切り離されて孤立している感が強いが、地域の子どもを地域で育てるという視点から、保育所と地域との交流の機会をつくり、互いに顔の見える関係を築いていくことも必要ではないかと思う。

### (2) ICT教育の推進

#### 《 評価 》

千代田区におけるICT教育の推進について、今回、番町小学校における1人1台のタブレット型PCの配布とそれを用いたICT教育の実践を視察し、学校教育におけるICT教育が着実に進められていることを実感した。教材・学習資料の作成とその活用も十分になされており、千代田区のICT教育の実践への支援を高く評価する。

#### 《 今後の取組み 》

現在はICT教育に取り組み始めたところであり、ICT教育の利点に注目が集まっているが、ICT教育の欠点にも留意して進めていく必要がある。

また、ICT教育を推進する上で、教室環境の整備は不可欠である。PCを利用しやすい机やプロジェクターの配置など、教室環境の整備に一層の努力が求められる。

## 2 教育・子育てに関する課題（千代田区における都心区特有の教育・子育てに関する課題）

### 《 評価 》

児童・生徒数は、当初の予想を超えて増加しているが、小学校の学区制の見直しなど、柔軟な対応が進められている。中学校の学校選択制については、学校の特色ある教育の推進に寄与し、生徒自身も希望の中学校に進学できるという利点があるが、近年の麴町中学校への進学希望者の偏りは著しく、中学校の適正な配置とは言い難い状況にある。学校選択制については再評価を行い、必要な措置を講ずる必要がある。

### 《 今後の取組み 》

中学校の学校選択の偏りが何に起因しているのかを把握し、問題解決のための手立てを具体的に講ずる必要がある。そして、施設・設備、教育内容・方法、教師の力量等に差が無く、どちらの中学校でも同様な教育が受けられるにも関わらず、一方に希望者が偏る状況が続くということであれば、学校選択制そのものの見直しも検討する必要があるだろう。

## 3 総評

### 《 評価 》

令和2年度の点検・評価事業について、検討した結果、いずれの事業も計画に即して着実に実施されており、達成度も高い水準にあると判断する。事務の管理遂行も適正になされている。なかでも、千代田区が力を入れている私立認可保育所の整備やICT教育の推進については、高く評価することができる。

### 《 今後の取組み 》

今後は、保育所の整備と併せて、子どもの遊び場の確保にも継続して取り組んでいただきたい。また、ICT教育についても、児童・生徒に1人1台のタブレット型PCの配布と学習環境の整備、教員の研修に一層努めていただきたい。

中学校の学校選択制については、速やかに学校選択制の再評価を行い、適切な措置がとられることを期待したい。

## 1 主要施策の成果における重点事業

### （1）私立保育所等整備関連事業

#### 《 評価 》

計画通りに実施され、目標を達成していると評価する。

#### 《 今後の取組み 》

保育の供給計画は、中長期的な人口推計に基づき策定されており、都心において保育需要の高い地域を中心に施設を計画的に整備し、かつ待機児童0（令和元年は4）を維持していることは評価できる。

コロナ禍を契機としたテレワーク拡大・働き方改革等によって、今後人口推計が変化する可能性はあるが、都心で働く子育て世帯のニーズに応えるため、量の確保に加え質の確保にも注力してもらいたい。

具体的には、保育環境に関し、心身ともに大きく成長する3-5歳児の子供たちがのびのび遊べる場所の確保をお願いしたい。保育施設内（屋上含む）の運動スペースの確保に加え、午後や長期の休みには空きとなる幼稚園の園庭や小学校の校庭を活用する等、公立私立問わず区内の施設の弾力的な運用等の工夫を検討してもらいたい。

### （2）ICT教育の推進

#### 《 評価 》

計画通りに実施され、目標を達成していると評価する。

#### 《 今後の取組み 》

千代田区では「千代田ICT授業指針」に沿ってICT教育がスタートした。番町小学校で、児童一人ひとりがタブレット端末に向かい、熱心に課題に打ち込んでいる様子を視察したが、学校での学びが双方向型に変革しつつあることを実感した。個々の進度に合わせた学習による学力向上や、将来的には学びの履歴や志向等のデータを蓄積し進路選択に役立てるなど、効果的に活用していつてもらいたい。

一方、日々進展するICT教育の現場では、学校側の体制作りと教員個々の対応（ICT環境に適応した教育・管理手法の習得）も急務であろう。体制構築にはICTサポーター等プロフェッショナルを活用し、特定の教職員に負荷が集中しないよう配慮しつつ、全教員への研修を急いでいただきたい。

また、タブレット端末やPCを用いての日々の学習は、成長過程にある子ども



もたちにとって視力等含めた心身の影響なども考えられるため、医学的な観点も踏まえ、家庭との情報共有を確り行いながら進めていただきたい。

## 2 教育・子育てに関する課題（千代田区における都心区特有の教育・子育てに関する課題）

### 《 評価 》

学区域の見直しを進め、学校選択制についてはより多くの情報開示の検討を進めるべきと思料する。

### 《 今後の取組み 》

現在の小学校学区域は、平成5年（1993年）、当時の人口減少に伴う学校の統廃合等とあわせて決定された。しかし近年の高層マンション等の建築により千代田区の人口増加は著しく、学校規模は最大と最小では2倍の差がある。充実した教育が行われるよう、平準化にむけた見直し行う時期ではないだろうか。

また、二校ある中学校では、「特色のある学校作り」と「学校選択制」を行っているが、これは多様性を育む観点でも非常によいことと考える。近年、特徴的な学校運営で著名になった中学に進学希望が集中し、調整せざるを得ない可能性が出るほどの不均衡が起きているとのことだが、原因の一つには情報の提供不足があるかもしれない。各校の特色を十分に伝えるとともに、生徒の進路や教育の成果などさまざまな角度の検証データを開示し、各家庭で判断ができることが望ましい。各校が切磋琢磨し、「選ばれる」学校作りを目指していただきたい。

## 3 総評

### 《 評価 》

令和2年度「教育に関する事務の管理および執行の状況の点検及び評価」において、対象事業の執行状況の点検を行い、いずれもの事業も着実に実施され、それぞれ高いレベルで目標を達成していると評価できる。

### 《 今後の取組み 》

千代田区では、教育委員会の下に「子ども部」があり、乳幼児～高校まで、子育て・教育に関わる課題について連携して対応できる組織となっている。課題が複雑化・多様化していく中で、この組織の重要性はますます高まると考えられ、その強みを最大限に発揮していただくことを期待する。

例えば、保育園の遊び場確保解決には、幼稚園園庭や小学校校庭等の活用等で一部改善できる可能性があるのではないかと（1.（1）でも記載済み）。また、小学校に併設されている幼稚園・こども園の子どもたちは、交流行事によって

スムーズに入学（移行）できるが、このような連携取り組みが保育園児に対しても行われるとよいのではないか。

現状2号認定（保育園児）の子ども数は1号認定（幼稚園児）の倍近く（1.8倍）になっており、この傾向は人口推計でも当面続くと見込まれている。幼稚園・保育園が極力縦割りにならないような連携を期待したい。

日永龍彦（山梨大学）

## 1 主要施策の成果における重点事業

### （1）私立保育所等整備関連事業

《 評価 》

貴区における保育所整備は用地の確保の困難さに加え、住宅地における保育所の増設には近隣の反対もあり、担当者のご苦勞は相当なものと思われる。そのような状況の中でも、人口増による保育ニーズの増加に対して計画的に保育所整備を進め、待機児童ゼロを実現できている状況については高く評価したい。

《 今後の取組み 》

保育所増設予定地の近隣住民への説明には、騒音等に関する具体的なデータの提示が有効ではないだろうか？民間の事業者側の方がそのようなデータも持ち合わせているということが聞かれたので、ぜひ情報の共有を進めていただきたい。

保育所の園庭の確保が課題となる中で、貴区においてはこれまで多額の予算を投入して遊休地の借り上げ等による遊び場の確保に努めてきた。他方、公立幼稚園については小学校に併設されていることもあり、一定程度の遊び場が確保されている。子どもたちの日常的な交流が小1プロブレムの解消にも一定の効果が見込めることもあり、公立幼稚園・小学校と私立保育所との連携・交流を進めることが、園庭の確保に限らず貴区の学校教育の充実にも役立つことにならないだろうか。

また、今後の保育所用地の確保にあたり、貴区内に多数存在する大学の敷地の一部利用の可能性など、大学との連携を進めることも一つの選択肢にならないだろうか。

### （2）ICT教育の推進

《 評価 》

情報機器、情報環境、教育コンテンツの整備に至るまで、ICT活用教育の推進を現場まかせにすることなく、専門性を持った区の担当者が区立学校から意見聴取をしながら進めている点は評価できる。また、LTE SIMカードが内蔵されたタブレットPCを選定したことで、家庭間の通信環境の格差を埋め、オンライン教育を含むICT教育が可能な状況を整備できていることも高く評価したい。

他方、ICTを活用した調べ学習にも積極的に取り組まれている様子が看取できたが、情報収集・選択にあたって必ずしも信頼性に欠ける情報源にアクセスしている児童も多く、著作権についての意識も高いようには見えなかった。2018年の意見にも記したことがあり、適切な指導はされているものと思うが、義務教育終了段階までにはこれらの課題が解決されるよう配慮願いたい。

タブレットを自宅に忘れてきた児童が授業に参加できない状況になっている様子も散見された。子どもたちや保護者に「タブレットが学校・家庭での学習に不可欠」という意識を高めてもらうことももちろん必要だろうが、授業に参加できないままになることのないよう配慮願いたい。

《今後の取組み》

ICTを活用することで子どもたちの学習に関する膨大でさまざまな履歴情報が蓄積される。ただし、その評価のあり方を教員任せにしまうと、教員の熱心さが災いして多忙化に拍車を欠けかねない。蓄積された学習履歴情報を有効活用した学習評価のガイドラインを示すなどして、多忙化への歯止めとするなどの対策も期待したい。

また、タブレットが日常的なツールになるに伴い、教室の備品等にも見直しが必要となるので、各学校からの意見を踏まえた整備を期待したい。

## 2 教育・子育てに関する課題（千代田区における都心区特有の教育・子育てに関する課題）

《 評 価 》

学校選択制は特色ある学校づくりとともに導入されてきたが、過去の調査等においても、「やりたい部活がある」「親しい友達が行く」などの選択理由が大半を占め、学校の特色が積極的に選択の材料となっていないことが示されている。他の区の事例であるが、問題児とみなされる子どもが入学してくるといった噂で入学者数が極端に変化するということがあった。2つの区立中学校間の最近の在籍者数の格差の拡大は、一方の校長による特徴的な学校経営のメディアにもとりあげられた結果であり、上記のような学校選択の状況からはある意味、あたりまえの結果であると考えられる。この問題は学区の見直しなどで対応できるのではなく、特色づくりによる学校の差

別化と学校選択を組み合わせることによる学校教育の質の向上策を見直すことを考えるきっかけと捉える必要があるのではないか。

《今後の取組み》

今後の人口増に対応するにあたり、学校数を増やすことが容易でないのであれば、今回のような在校生に偏りの起きないような施策への転換が必要だと考える。千代田区内の保育所・幼稚園と区立小・中学校に通う子どもたちが共通に質の高い学びを保証されるよう、ICTを最大限活用した施設分離型の保幼小中連携教育により、教職員の相互乗り入れや児童生徒の相互交流などを推進して、千代田区全体の学校教育の質の向上を図るべきではないだろうか。

### 3 総評

《 評 価 》

急激な人口増にともなう子育てニーズに対して、資源を工夫しながら計画的に諸条件の整備を進めてきていることを高く評価したい。また、保育ニーズの高まりに民間事業者と連携して対応を進め、ICT教育の推進にむけた環境整備についても学校現場と行政とが連携しながら最先端の教育実践を目指そうとしているなど、基本的な施策の方向性については同意できるものである。他方で、「子ども部」を設置して教育と児童福祉の境界を低くしていながら、両者の連携に充分とは言えない点もあるように見受けられるので、次項に述べるような点について検討をしていただきたい。

《今後の取組み》

今年度の点検・評価項目に対するコメントで記した通り、私立保育所と公立の幼稚園・小学校・中学校とが物理的な連携・交流、あるいはICTを活用した遠隔による連携・交流を深めてほしいと感じることが多々あった。徳島県で進められているパッケージスクールの取り組みのように、既存の学校園・教職員組織はそのままに（各施設が分離した状況は維持したままで）、相互の連携・協力を深めて千代田区の教育全体の質の向上を進めることが必要ではないかと思われた。

## 5 各事業についての評価及び今後の取組

令和2年度の教育に関する事務の管理及び執行状況は、教育長を中心に子ども部（教育委員会事務局）の職員が一丸となって取り組んだ結果、問題が全くないというわけではありませんが、極めて良い方向に進んでいると評価することができます。

また、令和元年度教育委員会重点事業点検評価の結果については、個々の事業について課題はあるものの、全体としては、適正に執行されているものと認められました。

今回、教育委員会の重点事業に対し、「点検及び評価に関する有識者」の方からご意見をいただき、教育委員会として次のような形で更に取り組んでいきたいと考えています。

### （1）主要施策の成果における重点事業

#### ① 私立保育所等整備関連事業

区内における引き続き高い保育需要に応え、待機児童ゼロをめざす。

また、「子どもが健やかに育つための環境の確保に関する条例」に基づいて、保育の実施主体の違いに関わらず、良好な子育て環境が確保されるよう、保育事業者の支援等を継続する。

#### ●保育需要に対応するための用地整備・私立保育所整備補助

- ・保育需要の増加が見込まれる中においては、用地確保が困難な中においても保育所の整備を進めなければならない。そのため、既存建物（旧高齢者センター）を取り壊して保育所建設用地に向けて整備する。
- ・私立認可保育所を整備する事業者に対し、保育所整備に要する経費を支援することで、「子ども・子育て支援事業計画」における「量の見込みと確保方策」に基づく私立認可保育所の整備を進める。

- ・全国的な保育士不足の中、私立保育所を開設する事業所に対して人材確保に要する経費を補助することで、職員の定着による保育サービスの向上を支援する。

●保育の質の向上に資する取り組み

- ・保育の質の向上は、全区的に共通の課題であることをふまえ、公立及び私立園の保育士を対象とした講習会を活用し、各園における保育力や指導力の向上を図る。
- ・保育の専門家等が各保育施設を巡回し、保育を行う環境、配慮を要する児童の相談や施設運営上の苦情に関する助言などを行うことで、保育内容の充実や保育施設に対する理解を促進する。
- ・身体を動かして遊ぶことにより、身体の諸機能の発達が促されることから、子どもの興味や関心が屋外にも向くようにする必要がある。各保育施設が屋外活動を可能な限り多く実施できるよう、必要な支援を行う。

② ICT教育の推進

ICTの環境整備に努め、新たな時代を生き抜く人材の育成をめざす。

●機器および周辺環境の整備

- ・令和2年度は「1人1台端末の整備」、「校内通信環境の整備」を推進し、オンライン学習のみでなく、学校におけるICT教育の充実を視野に入れた、本区におけるGIGAスクール構想の実現に向けた取組を進めてきた。
- ・令和3年度は、区立小中学校のICT教育システムリプレイスにおいて、現在の環境をさらに発展させ「通信環境の高速化」を推進することで、ICTを効果的に活用した分かりやすく深まる授業を実践できる環境を整えていく。

## ●指導のあり方の検証・体制整備

- ・より効果的な指導方法や指導体制のあり方について、各学校と連携をとり、実践を進める中で引き続き検証を進めていくことで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の取組が区内全校において推進されるよう取り組む。
- ・教員のICTを活用した指導の方法等について、学校間や学校内で共有化できる仕組み作りをすることで、教員間での指導力の格差が是正されるようにしていく。
- ・新たなICT機器を活用した授業実践への取組により、教員の業務を平準化し、ICTサポーターとの連携強化を図り、授業運営が円滑に進むための支援体制を構築していく。
- ・教職員への情報モラル研修を継続し、児童・生徒の情報リテラシーを高める指導を行う。

## (2) 教育・子育てに関する課題

千代田区における都心区特有の教育・子育てに関する課題（児童・生徒数の増による今後の本区の教育について（学区域の見直し、学校選択制など））

### ① 取組みの方向性

#### ●小学校

- ・人口増に伴い、学校規模（児童数）に差が生じているが、どの学校も共通な条件の教育環境を維持できるよう、平準化にむけた見直しの検討を行う。

#### ●中学校

- ・学校選択制については、学校選択の偏りが何に起因しているのかを把握検討し、再評価を行い、問題解決のための必要な手立てを具体的に講ずる。
- ・特色のある学校作りについては、各校の特色を生徒・保護者・地域に十分に伝え、生徒が自主的に、納得して選択する学校作りを目指して

いく。

## ② 検討する取組み内容

- 学識経験者、学校関係者、区民等で構成する「(仮称) 今後の教育のあり方検討協議会」を設置し、未来を担う子どもたちのために千代田区の特徴を生かした、今後の教育のあり方の検討を行う。
- 協議会では、今後の児童・生徒数を踏まえ、以下について、総合的に検討する。
  - ア 教育方針に関すること
  - イ 学級編制や指定校変更の考え方等、制度に関すること
  - ウ 学校施設等の整備等に関すること など



## 6 あとがき

今回は評価対象事業を精査し、3項目に絞り込んだため、有識者会議において深く掘り下げた検討がなされ、各事項に対して広く効果的な意見をいただくことができ、評価をより有意義なものとすることができました。

今後も、今回の点検評価を踏まえ、区民の皆様に信頼される教育行政を推進してまいります。

令和3年〇月〇日

千代田区教育委員会

## 資料 1 教育委員会の活動

### 1 制 度

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」）に基づき、学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教育職員の任免その他の人事に関する事務を処理し、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理・執行する合議制の執行機関である。

### 2 組 織

教育委員会は、教育長及び4人の教育委員により構成される。

教育長は、区長の被選挙権を有し、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するものうちから、区長が、議会の同意を得て任命する。教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。教育委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するものうちから、区長が、議会の同意を得て任命する。教育長の任期は3年、教育委員の任期は4年であるが、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とされている。また、委員は再任されることができる。

教育委員名簿

(令和2年12月31日現在)

職 名	氏 名	任 期
教育長	—	—
教育長職務代理者	金丸 精孝	令和元年7月2日 - 令和5年7月1日
委員	中川 典子	平成30年3月25日 - 令和4年3月24日
委員	長崎 夢地	平成29年10月17日 - 令和3年10月16日
委員	俣野 幸昭	平成30年3月25日 - 令和4年3月24日

### 3 会 議

教育委員会の会議は、教育長が招集する。議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、教育長の決するところによる。

「千代田区教育委員会事務局文書専決規則」に基づき、次に掲げる事案は、委員会の議決を受ける。

- (1) 区教育行政の運営に関する一般方針に関すること。
- (2) 事務事業の基本的な方針及び計画の設定、変更又は廃止に関すること。
- (3) 教育予算その他区議会の議決を経るべき事案についての意見の申出に関すること。
- (4) 教育財産の取得の申出及び用途の廃止に関すること。
- (5) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免、付属機関の構成員の任免及びその他の人事に関すること。
- (6) 千代田区立学校教育職員の懲戒及び分限に関すること。
- (7) 教育委員会規則及び訓令に関すること。
- (8) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- (9) 特に重要な事項に関する報告、答申、進達及び副申に関すること。
- (10) 特に重要な告示、公示、公表、情報公開、通達、協議、諮問、申請、照会、同意、回答及び通知に関すること。
- (11) 特に重要な許可その他の行政処分に関すること。
- (12) 審査請求の裁決及び重要な訴訟に関すること。
- (13) 特に重要な広報に関すること。
- (14) (1) から (13) までのほか、特に重要又は異例に属すること。

#### 4 活 動

教育委員会の会議は、定例会と臨時会とし、定例会は毎月第2火曜日及び第4火曜日に開催し、区教育行政の基本的な施策の決定や重要な事案を処理する。なお、臨時会は、必要に応じて開催する。

##### (1) 令和元年度会議開催状況

定例会・臨時会 25回

##### (2) 令和元年度 教育委員会開催会議事項

会議名	開催日	会議事項
平成31年 第6回 定例会	4月9日	『報告』 1. 幼稚園・保育園・こども園等の在籍状況（平成31年4月1日現在） 2. 学童クラブ在籍状況（平成31年4月1日現在） 3. 平成31年度 学級編制（平成31年4月1日現在） 4. いじめ、不登校、適応指導教室の状況（平成31年3月末時点）

		<p>5. 平成31年度 校園長による経営方針等説明会について</p> <p>6. 第4回千代田区子ども読書調査報告書</p> <p>『その他』</p> <p>1. 教育委員会行事予定表</p> <p>2. 広報千代田（4月20日号）掲載事項</p>
第7回 定例会	4月23日	<p>『報告』</p> <p>1. 平成31年度 認可保育所整備・運営事業者募集の概要</p> <p>2. 教科書採択について</p> <p>『その他』</p> <p>1. 教育委員会行事予定表</p> <p>2. 広報千代田（5月5日号）掲載事項</p>
令和元年 第8回 定例会	5月14日	<p>『報告』</p> <p>1. 幼稚園・保育園・こども園等の在籍状況（令和元年5月1日現在）</p> <p>2. 学童クラブ在籍状況（令和元年5月1日現在）</p> <p>3. 学級編制（児童・生徒数/学級数 令和元年5月1日現在）</p> <p>4. 令和2年度使用 教科用図書採択について</p> <p>『その他』</p> <p>1. 教育委員会行事予定表</p> <p>2. 広報千代田（5月20日号）掲載事項</p> <p>3. 学校保健会総会の開催</p>
第9回 定例会	5月29日	<p>『協議』</p> <p>1. 千代田区立こども園条例の一部を改正する条例</p> <p>2. 千代田区立幼稚園使用条例の一部を改正する条例</p> <p>3. 第3次子ども読書活動推進計画案について</p> <p>『報告』</p> <p>1. 保育の実施に関する条例の一部を改正する条例</p> <p>2. 千代田区保育施設等運営基準条例の一部を改正する条例</p> <p>3. 平成31年4月待機児童数について</p> <p>4. 認可保育所設置運営事業者の選定結果について</p> <p>5. 障害児ケアプラン検討委員会構成員について</p> <p>6. 保幼小合同研修会</p> <p>7. いじめ、不登校、適応指導教室の状況（平成31年4月末現在）</p> <p>『その他』</p> <p>1. 教育委員会行事予定表</p> <p>2. 広報千代田（6月5日号）掲載事項</p>
第10回 定例会	6月11日	<p>『議案』</p> <p>1. 議案第11号「千代田区立こども園条例の一部を改正する条例」</p> <p>2. 議案第12号「千代田区立幼稚園使用条例の一部を改正する条例」</p> <p>『協議』</p> <p>1. 四番町図書館仮施設整備について</p> <p>『報告』</p> <p>1. 令和元年 第2回区議会定例会の日程</p> <p>2. 千代田区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例</p> <p>3. 千代田区保育施設等運営基準条例の一部を改正する条例</p> <p>『その他』</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 教育委員会行事予定表</li> <li>2. 広報千代田（6月20日号）掲載事項</li> </ul>
第11回 定例会	6月25日	『議案』 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 議案第13号「千代田区子ども・子育て会議委員の任命」</li> </ul> 『報告』 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 令和元年第2回区議会定例会の報告</li> <li>2. いじめ、不登校、適応指導教室の状況報告</li> </ul> 『その他』 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 教育委員会行事予定表</li> <li>2. 広報千代田（7月5日号）掲載事項</li> </ul>
第12回 定例会	7月9日	『報告』 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 旧高齢者センター跡地を活用した認可保育所の整備</li> <li>2. 令和元年度千代田区立中学校 生徒海外交流教育について</li> <li>3. 令和2年度使用 小学校教科用図書の採択</li> </ul> 『その他』 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 教育委員会行事予定表</li> <li>2. 広報千代田（7月20日号）掲載事項</li> </ul>
第13回 定例会	7月23日	『協議』 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 令和元年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価</li> </ul> 『報告』 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 幼児教育・保育無償化 保護者向けチラシ</li> <li>2. 緊急保育施設の期間延長</li> <li>3. 重症心身障害児等通所支援事業所の移転・開所</li> <li>4. お茶の水小学校・幼稚園仮校舎への移転</li> <li>5. 令和元年度 千代田区「達成度調査」の結果</li> <li>6. 教科書展示会の結果報告</li> <li>7. いじめ、不登校、適応指導教室の状況報告（令和元年6月）</li> </ul> 『その他』 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 教育委員会行事予定表</li> <li>2. 広報千代田（8月5日号）掲載事項</li> </ul>
第2回 臨時会	7月31日	『議案』 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 議案第14号「第3次子ども読書活動推進計画」</li> </ul> 『協議』 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年度使用 小学校教科用図書採択</li> <li>2. 令和2年度使用 特別支援学級用教科用図書採択</li> <li>3. 令和2年度使用 中等教育学校（後期課程）教科用図書採択</li> </ul>
第14回 定例会	8月27日	『議案』 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 議案第15号「令和2年度使用千代田区立小学校教科用図書採択」</li> <li>2. 議案第16号「令和2年度使用千代田区立中学校・中等教育学校（前期課程）教科用図書採択」</li> <li>3. 議案第17号「令和2年度使用特別支援学級教科用図書採択」</li> <li>4. 議案第18号「令和2年度使用中等教育学校（後期課程）教科用図書採択」</li> </ul> 『協議』 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年度 部予算編成方針（兼 令和2年度 部組織目標）</li> <li>2. 幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正</li> </ul>

		<p>3. 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部改正</p> <p>4. 千代田区立九段中等教育学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部改正</p> <p>『報告』</p> <p>1. 令和元年度麹町地区私立学童クラブの運営事業者募集の概要</p> <p>2. 子育て短期支援事業及び一時預かり事業の運営事業者募集の概要</p> <p>3. 平成31年度 全国学力・学習状況調査の結果</p> <p>4. いじめ、不登校、適応指導教室の状況</p> <p>『その他』</p> <p>1. 教育委員会行事予定表</p> <p>2. 広報千代田（9月5日号）掲載事項</p>
第15回定例会	9月10日	<p>『議案』</p> <p>1. 議案第19号「千代田区教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱」</p> <p>2. 議案第20号「千代田区立九段中等教育学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例」</p> <p>3. 議案第21号「幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」</p> <p>『報告』</p> <p>1. 令和元年度 区立幼稚園・こども園・学校・保育園の運動会等のお知らせ</p> <p>2. 教育広報かけはし第119号の発行</p> <p>3. 令和2年度 千代田区立幼稚園・幼保一体施設・こども園入園案内</p> <p>4. 認可保育所設置運営事業者の選定結果</p> <p>5. 旧高齢者センター跡地を活用した保育所整備について</p> <p>6. 令和元年度 学校生活アンケート（第1回）の結果（概要）</p> <p>『その他』</p> <p>1. 教育委員会行事予定表</p> <p>2. 広報千代田（9月20日号）掲載事項</p> <p>3. 千代田区立お茶の水小学校・幼稚園の施設整備について</p> <p>4. 会計年度任用職員制度の導入等に伴う人事関係条例の整備について</p>
第16回定例会	9月24日	<p>『報告』</p> <p>1. 第3回区議会定例会の報告</p> <p>2. 千代田区保育施設等運営基準条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例</p> <p>3. いじめ、不登校、適応指導教室の状況（8月末）</p> <p>4. 公の施設を利用する権利に関する処分についての審査請求について</p> <p>『その他』</p> <p>1. 教育委員会行事予定表</p> <p>2. 広報千代田（10月5日号）掲載事項</p>
第17回定例会	10月11日	<p>『報告』</p> <p>1. 第3回区議会定例会の報告</p> <p>2. 保育園の入園案内</p> <p>3. 年末保育の実施</p>

		<p>4. (仮称) 四番町公共施設整備</p> <p>5. 千代田区立中学校の学校選択状況</p> <p>6. 令和元年度インフルエンザによる学級閉鎖の状況</p> <p>7. 令和元年度 東京都児童・生徒 体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果</p> <p>8. 令和元年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査</p> <p>『その他』</p> <p>1. 教育委員会行事予定表</p> <p>2. 広報千代田 (10月20日号) 掲載事項</p> <p>3. お茶の水小学校・幼稚園の施設整備</p> <p>4. 令和2年度 千代田区立九段中等教育学校 入学者決定に関する実施要綱</p>
第18回 定例会	10月23日	<p>『報告』</p> <p>1. 令和元年度 千代田区学校保健大会開催について</p> <p>2. いじめ、不登校、適応指導教室の状況 (令和元年9月末)</p> <p>『その他』</p> <p>1. 教育委員会行事予定表</p> <p>2. 広報千代田 (11月5日号) 掲載事項</p>
第19回 定例会	11月12日	<p>『報告』</p> <p>1. 認可保育所整備・運営事業者募集の概要</p> <p>2. 千代田区虐待防止キャンペーン</p> <p>3. 千代田区子育て短期支援事業、一時預かり事業 運営事業者の決定</p> <p>4. 麹町地区私立学童クラブ運営事業者募集の結果</p> <p>『その他』</p> <p>1. 教育委員会行事予定表</p> <p>2. 広報千代田 (11月20日号) 掲載事項</p>
第20回 定例会	11月26日	<p>『議案』</p> <p>1. 議案第22号「教育事務に関する議案の意見聴取」</p> <p>2. 議案第23号「千代田区立幼稚園使用条例施行規則の一部を改正する規則」</p> <p>3. 議案第24号「幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」</p> <p>4. 議案第25号「幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則」</p> <p>『協議』</p> <p>1. 幼稚園教育職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則</p> <p>2. 幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則</p> <p>3. 幼稚園教育職員の初任給、昇格及び昇給等に関する規則の一部を改正する規則</p> <p>『報告』</p> <p>1. 第4回区議会定例会の報告</p> <p>2. 千代田区保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則</p> <p>3. 千代田区立こども園条例施行規則の一部を改正する規則</p> <p>4. 千代田区子ども・子育て会議委員の委嘱・任命</p> <p>5. いじめ・不登校・適応指導教室の状況 (10月)</p>

		<p>6. 四番町図書館の移転に伴う休館について</p> <p>『その他』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育委員会行事予定表</li> <li>2. 広報千代田（12月5日号）掲載事項</li> </ol>
第21回定例会	12月10日	<p>『議案』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 議案第26号「幼稚園教育職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則」</li> <li>2. 議案第27号「幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則」</li> <li>3. 議案第28号「幼稚園教育職員の初任給、昇格及び昇給等に関する規則の一部を改正する規則」</li> </ol> <p>『報告』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和元年第4回区議会定例会の報告</li> <li>2. 令和2年度 子ども部予算編成方針と主要事業</li> <li>3. 令和2年度 区立幼稚園・こども園（短時間）新入園児申込結果【二次選考後】</li> <li>4. 令和2年度 学童クラブ入会募集</li> </ol> <p>『その他』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育委員会行事予定表</li> <li>2. 広報千代田（12月20日号）掲載事項</li> <li>3. 教育広報かけはし 第120号の発行</li> </ol>
第22回定例会	12月24日	<p>『議案』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 議案第29号「千代田区会計年度任用講師の任用等に関する規則」</li> </ol> <p>『報告』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 有識者意見</li> <li>2. 令和元年度 インフルエンザによる学級閉鎖の状況</li> <li>3. いじめ、不登校、適応指導教室の状況（令和元年11月末時点）</li> <li>4. 常設展示室の一部改修</li> </ol> <p>『その他』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育委員会行事予定表</li> <li>2. 広報千代田（1月5日号）掲載事項</li> </ol>
令和2年第1回定例会	1月28日	<p>『議案』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 議案第1号「千代田区立幼稚園使用条例施行規則の一部を改正する規則」</li> </ol> <p>『協議』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価</li> </ol> <p>『報告』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 区立学校園 卒業式及び入学式</li> <li>2. 千代田区立こども園条例施行規則の一部改正について</li> <li>3. 令和2年4月保育所等入所申込状況（一次締切）</li> <li>4. 認可保育所整備・運営事業者の選定結果について</li> <li>5. 千代田区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について</li> <li>6. 区内子どもショートステイ事業の開始</li> <li>7. お茶の水小学校・幼稚園の施設整備について</li> <li>8. 給食費の値上げと補助金について</li> </ol>



		<p>9. いじめ、不登校、適応指導教室の利用状況等（12月）</p> <p>10. 令和2年度九段中等教育学校適性検査応募状況</p> <p>『その他』</p> <p>1. 教育委員会行事予定表</p> <p>2. 広報千代田（2月5日号）掲載事項</p>
第2回定例会	2月12日	<p>『議案』</p> <p>1. 議案第2号「幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」</p> <p>『協議』</p> <p>1. 幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部を改正する規則</p> <p>2. 幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則</p> <p>『報告』</p> <p>1. 令和2年度当初予算案の概況</p> <p>2. 令和2年度4月保育園等入園審査状況（一次審査終了時点）</p> <p>3. 中国から帰国した児童生徒等への対応について</p> <p>4. 令和元年度インフルエンザによる学級閉鎖の状況（1月31日現在）</p> <p>5. 中学校東京駅伝大会の競技結果</p> <p>6. 令和2年度九段中等教育学校適正検査受検結果</p> <p>『その他』</p> <p>1. 教育委員会行事予定表</p> <p>2. 広報千代田（2月20日号）掲載事項</p>
第3回定例会	2月25日	<p>『議案』</p> <p>1. 議案第3号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」</p> <p>2. 議案第4号「幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部を改正する規則」</p> <p>3. 議案第5号「幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則」</p> <p>『協議』</p> <p>1. 千代田区指定文化財の指定について</p> <p>『報告』</p> <p>1. 令和2年第1回区議会定例会の報告</p> <p>2. 令和2年4月保育園等入園二次審査結果</p> <p>3. いじめ、不登校、適応指導教室の利用状況等（令和2年1月）</p> <p>4. 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果</p> <p>『その他』</p> <p>1. 教育委員会行事予定表</p> <p>2. 広報千代田（3月5日号）掲載事項</p> <p>3. 住民監査請求について</p> <p>4. 図書館の利用制限について</p> <p>5. 新型コロナウイルスの対応について</p>
書面開催	2月28日	<p>『議案』</p> <p>1. 議案第6号「区立小・中・中等教育学校における新型コロナウイルスに関連した臨時休校の対応」</p>

<p>第4回 定例会</p>	<p>3月13日</p>	<p>『議案』 1. 議案第7号「千代田区指定文化財の指定について」 『協議』 1. 審査請求に係る裁決について 『報告』 1. 令和2年第1回区議会定例会の報告 2. 学校給食費及び給食費補助金の改定について 3. 千代田区立中学校選択制度について 4. 千代田区公立学校教育管理職の異動について 5. 四番町図書館仮施設における図書館事業の実施について 『その他』 1. 教育委員会行事予定表 2. 広報千代田（3月20日号）掲載事項 3. 令和2年度教育広報かけはし掲載案</p>
<p>第1回 臨時会</p>	<p>3月21日</p>	<p>『協議』 1. 新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対応について</p>
<p>第5回 定例会</p>	<p>3月24日</p>	<p>『議案』 1. 議案第8号「審査請求に係る裁決」 2. 議案第9号「千代田区教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則」 3. 議案第10号「日比谷図書文化館文化財事務室処務規程の一部改正」 『協議』 1. 幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部を改正する規則 2. 幼稚園教育職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則 3. 幼稚園教育職員の給与の減額を免除することのできる場合の基準に関する規則の一部を改正する規則 4. 千代田区立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則 『報告』 1. 令和2・3年度千代田区青少年委員について 2. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休校に係る区立児童館等の対応 3. 障害児ケアプランの進捗状況について 4. 和泉小学校・いずみこども園等の施設整備について 5. いじめ、不登校、適応指導教室の利用状況等（2月分） 6. 千代田区登校サポート事業について 7. 子どもの学習・生活支援事業について 『その他』 1. 教育委員会行事予定表 2. 広報千代田（4月5日号）掲載事項</p>

第2回臨時会	3月31日	<p>『議案』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 議案第11号「令和2年度教育委員会事務局幹部職員の異動」</li> <li>2. 議案第12号「幼稚園教育職員・九段中等教育学校教育職員の採用等について」</li> <li>3. 議案第13号「幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部を改正する規則」</li> <li>4. 議案第14号「幼稚園教育職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則」</li> <li>5. 議案第15号「幼稚園教育職員の給与の減額を免除することのできる場合の基準に関する規則の一部を改正する規則」</li> <li>6. 議案第16号「千代田区立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則」</li> <li>7. 議案第17号「千代田区立幼稚園教育管理職の業績評価に関する規則の一部を改正する規則」</li> <li>8. 議案第18号「千代田区教育研究専門員の設置等に関する規則を廃止する規則」</li> <li>9. 議案第19号「千代田区立教育研究所処務規程の一部改正」</li> <li>10. 議案第20号「議案第10号『日比谷図書館文化財事務室処務規程の一部改正』の取り消し」</li> </ol> <p>『報告』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年度教育委員会事務局一般職員の異動</li> </ol>
--------	-------	--

(3) 視察状況

実施日	場所	内容
令和元年1月14日	1. 西神田コスモス館 (西神田二丁目6番2号)  2. 九段小学校 (三番町16)  3. グローバルキッズ飯田 橋こども園 (富士見二丁目14番36号 富士見EAST2階)	児童館及び児童館併設学童クラブの視察 <西神田児童センター/西神田学童クラブ>  小学校及び学校内学童クラブの視察 <九段小学校/九段小学校アフタースクール>  私立認定こども園の視察

## 資料2 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価実施要綱

平成20年12月4日20千こ総第528号

改正

平成22年4月1日22千子子総発第26号

平成23年4月1日23千子子総発第158号

平成26年4月1日26千子子総発第177号

### 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価実施要綱

(目的)

**第1条** この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条の規定に基づき、千代田区教育委員会（以下「委員会」という。）が行う事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施するために必要な事項を定めることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、区民への説明責任を果たし、区民に信頼される教育行政を推進することを目的とする。

(定義)

**第2条** この要綱において次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 点検 個々の施策及び事業のこれまでの取組状況や成果について、取りまとめることをいう。
- (2) 評価 個々の施策及び事業についての点検を踏まえ、課題を検討するとともに、今後の取組の方向性を示すことをいう。

(点検及び評価の対象)

**第3条** 点検及び評価は、法の規定に基づき委員会がその権限に属する事務（法第26条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により委員会事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）として処理する事務事業及び委員会事務局子ども・教育部が所管する事務事業のうち、当該年度における委員会の主要な事業として別に定めるもの（以下「主要事業」という。）を対象とする。

(点検及び評価の内容)

**第4条** 点検及び評価は、前年度の主要事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性を示すものとする。

(有識者の設置)

**第5条** 委員会は、点検及び評価の実施にあたり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検及び評価に関する有識者」(以下「有識者」という。)を置く。

2 有識者は、教育に関し学識経験を有する者の中から3名を選任し、委員会が委嘱する。

3 委員会は、特に必要があると認めた場合は、前項に定める有識者に加えて、有識者を選任し、委嘱することができる。この場合における有識者は、教育に関し学識経験を有する者以外の者を選任することができる。

4 有識者の任期は3年とし、補欠による有識者の任期は前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

5 委員会の求めに応じて会議等に参加した有識者に対し、その出席日数に応じて謝礼を支払う。

(点検及び評価の実施)

**第6条** 委員会は、毎年1回、主要事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した上で、点検及び評価を行う。

2 委員会は点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を作成する。

3 前項の報告書は区議会に提出するとともに、ホームページ等により区民へ公表するものとする。

(委任)

**第7条** この要綱に規定するもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

#### 附 則

この要綱は、平成20年12月9日から施行する。

附 則 (平成22年4月1日22千子子総発第26号)

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年4月1日23千子子総発第158号)

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年4月1日26千子子総発第177号)

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

# 令和3年度 当初予算（案）の概況

1. 予算の特徴	1
2. 各会計予算の規模	2
3. 歳入予算（一般会計）	3
4. 歳出予算（一般会計）	5
5. 区民生活を支えるために重点的に取り組む施策	
・子どもに関する取組み	9
・保健福祉に関する取組み	17
・地域振興に関する取組み	28
・環境まちづくりに関する取組み	32
・政策経営に関する取組み	38
6. 今後の財政見通し	41

# 1

## 予算の特徴

区民の命と健康を守ることを最優先に、  
新しい生活様式を見据えて  
区民生活をしっかりと支える予算



世界中に未曾有の被害をもたらしている新型コロナウイルス感染症は、依然、収束に向けて先行きが不透明な状況となっています。我が国も度重なる感染拡大の波に見舞われ、本区においても、区民生活や地域経済に大きな影響を与えていることから、区民を支えるための対策と支援が急務となっています。また、長引く感染拡大や社会の変化を受け、ウィズコロナ・アフターコロナにおける新しい生活様式を見据えた行政サービスの提供が求められています。さらに、令和3年に延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）開催についても、感染防止を図った対応が必要です。

一方、歳入面では、感染拡大による様々な影響により、個人住民税などの特別区税や法人住民税などを原資として東京都から交付される特別区交付金の大幅な減収が見込まれ、今後もしばらくは厳しい財政状況となることが見込まれます。

このような状況を踏まえ、令和3年度予算は、「区民の命と健康を守ることを最優先に、新しい生活様式を見据えて区民生活をしっかりと支える予算」とし、新型コロナウイルス感染症による社会の変化に対応しながらも、質の高い行政サービスを継続的かつ安定的に提供することを念頭に置いて編成を行いました。

この結果、厳しい財政状況が予想される中でも、過去の執行状況を踏まえ、事業の選択と集中を考慮しながら予算配分を図るとともに、不測の事態に備えて積み上げた基金を有効活用し、新型コロナウイルス感染症への体制整備や医療支援、区内商工業活性化のための中小企業支援をはじめ、新しい生活様式に対応するための業務のデジタル化への取組みなどに必要な予算を計上しました。

また、少子高齢化による我が国全体の人口減少が続く中、本区の人口は年々増加しており、7万人に迫る勢いとなっています。こうした傾向は、これまで本区が取り組んできた施策の成果である一方で、子どもや高齢者など、特に行政サービスを必要とする年齢層を増加させたことから、子育て支援やICT教育などの教育環境の充実、介護施設の機能拡充、8050問題への支援などの予算も確保しました。

本区は、新型コロナウイルス感染症により激動する社会経済情勢の中にあっても、住民に一番身近な基礎自治体として、新型コロナウイルス感染拡大から区民の命と健康を守るための適時適切な対策を図りながら、豊かな地域社会の実現に向けて、今後も着実な施策の推進に努めます。

## 2

### 各会計予算の規模

- 令和3年度の全会計合計の予算規模は、753億円、前年度対比△12億27百万円、△1.6%の減となりました。
- 一般会計は、627億79百万円、前年度対比△18億47百万円、△2.9%の減となりました。なお、区民一人あたりの予算額は93万4千円(※)となりました。
- 国民健康保険事業会計は、58億31百万円、前年度対比1億5百万円、1.8%の増となりました。
- 介護保険特別会計は、47億93百万円、前年度対比4億76百万円、11.0%の増となりました。
- 後期高齢者医療特別会計は、18億97百万円、前年度対比38百万円、2.1%の増となりました。

(※) 令和3年度一般会計予算額を令和3年1月1日現在の住民基本台帳人口67,216人で除して算出した額です。(千円未満は四捨五入しています。)

#### 各会計予算の編成状況

(単位：百万円)

会 計 名	令和3年度	令和2年度	増(△)減額	増(△)減率
一 般 会 計	62,779	64,626	△ 1,847	△ 2.9%
国民健康保険事業会計	5,831	5,726	105	1.8%
介護保険特別会計	4,793	4,317	476	11.0%
後期高齢者医療特別会計	1,897	1,859	38	2.1%
全 会 計 合 計	75,300	76,527	△ 1,227	△ 1.6%

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。

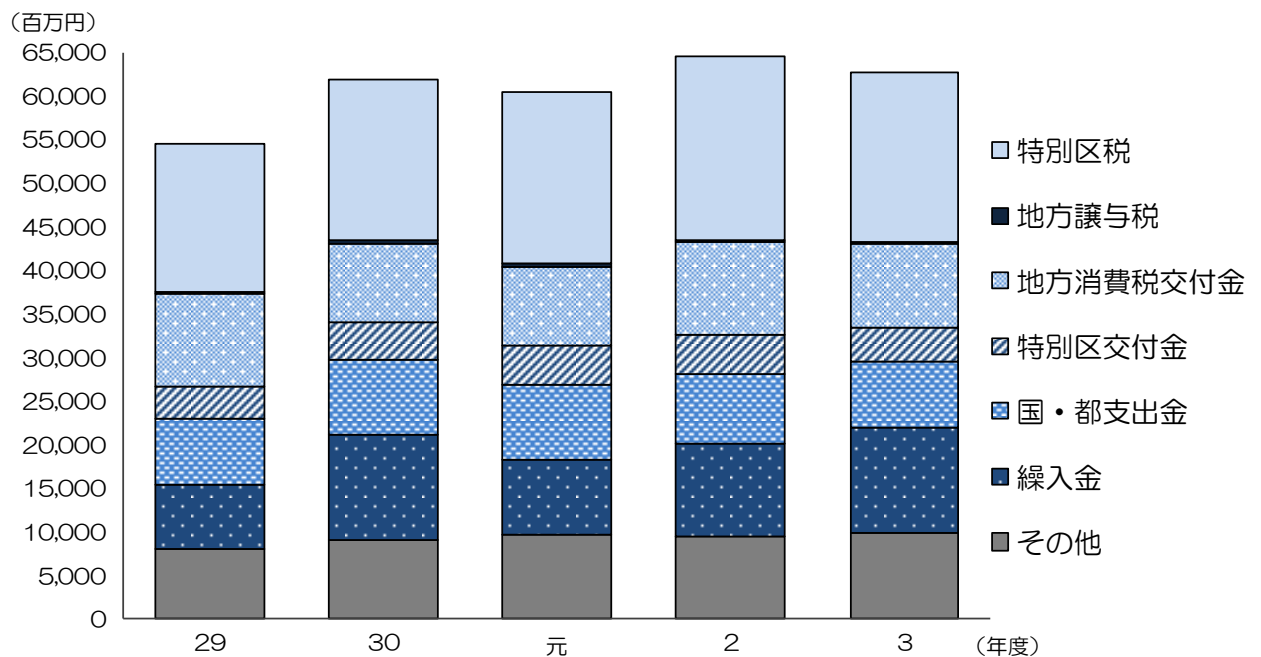


# 3

## 歳入予算（一般会計）

- 特別区税は、前年度対比△15億57百万円、△7.4%の減となりました。このうち特別区民税は、課税標準額の減などにより、前年度対比△2億97百万円、△1.7%の減、特別区たばこ税は、売渡本数の減などにより、前年度対比△12億49百万円、△35.2%の減となりました。
- 地方消費税交付金は、景気悪化等に伴う消費の減などにより、前年度対比△11億円、△10.3%の減となりました。
- 特別区交付金は、交付金の原資となる調整税等の減などにより、前年度対比△4億91百万円、△11.2%の減となりました。
- 国庫支出金は、「生活困窮者自立相談支援事業費等負担金」53百万円や「児童手当」45百万円の増などにより、前年度対比1億90百万円、4.7%の増となりました。
- 都支出金は、「私立保育所等整備費補助金」△5億59百万円の減などにより、前年度対比△7億80百万円、△19.5%の減となりました。
- 繰入金は、（仮称）外神田一丁目公共施設整備完了に伴う「社会資本等整備基金繰入金」△18億81百万円の減はあるものの、財源不足対応等のための「財政調整基金繰入金」34億98百万円の増などにより、前年度対比15億72百万円、14.7%の増となりました。
- 諸収入は、「特別区競馬組合分配金」1億円の増などにより、前年度対比1億16百万円、7.2%の増となりました。

歳入予算額の推移



## 歳入予算一覧表

区 分 科 目	令和3年度予算額		令和2年度予算額		増(△)減額	増(△)減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 特 別 区 税	19,492,865	31.1	21,050,100	32.6	△1,557,235	△7.4
特別区民税	17,153,605	27.3	17,450,492	27.0	△296,887	△1.7
軽自動車税	34,663	0.1	34,829	0.1	△166	△0.5
特別区たばこ税	2,301,427	3.7	3,550,836	5.5	△1,249,409	△35.2
入湯税	3,170	0.0	13,943	0.0	△10,773	△77.3
2 地 方 譲 与 税	284,700	0.5	314,700	0.5	△30,000	△9.5
3 利 子 割 交 付 金	45,000	0.1	50,000	0.1	△5,000	△10.0
4 配 当 割 交 付 金	210,000	0.3	200,000	0.3	10,000	5.0
5 株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	250,000	0.4	150,000	0.2	100,000	66.7
6 地 方 消 費 税 交 付 金	9,600,000	15.3	10,700,000	16.6	△1,100,000	△10.3
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
8 環 境 性 能 割 交 付 金	55,000	0.1	60,000	0.1	△5,000	△8.3
9 地 方 特 例 交 付 金	40,000	0.1	30,000	0.0	10,000	33.3
10 特 別 区 交 付 金	3,890,749	6.2	4,381,678	6.8	△490,929	△11.2
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	25,000	0.0	25,000	0.0	0	0.0
12 分 担 金 及 び 負 担 金	859,982	1.4	816,804	1.3	43,178	5.3
13 使 用 料 及 び 手 数 料	6,153,235	9.8	6,040,947	9.3	112,288	1.9
14 国 庫 支 出 金	4,251,792	6.8	4,061,512	6.3	190,280	4.7
15 都 支 出 金	3,229,884	5.1	4,009,920	6.2	△780,036	△19.5
16 財 産 収 入	291,908	0.5	325,169	0.5	△33,261	△10.2
17 寄 附 金	40,504	0.1	40,120	0.1	384	1.0
18 繰 入 金	12,232,531	19.5	10,660,380	16.5	1,572,151	14.7
19 繰 越 金	100,000	0.2	100,000	0.2	0	0.0
20 諸 収 入	1,725,609	2.7	1,609,436	2.5	116,173	7.2
歳 入 合 計	62,778,760	100.0	64,625,767	100.0	△1,847,007	△2.9

※入湯税は地方税法に基づき、観光の振興経費へ活用します。

※地方譲与税のうち、森林環境譲与税（14,700千円）については、森林の整備及びその促進に関する費用に活用します。

※地方消費税交付金のうち、平成26年度の消費税法改正に伴う税率改定分については、社会保障費へ活用します。

# 4

## 歳出予算（一般会計）

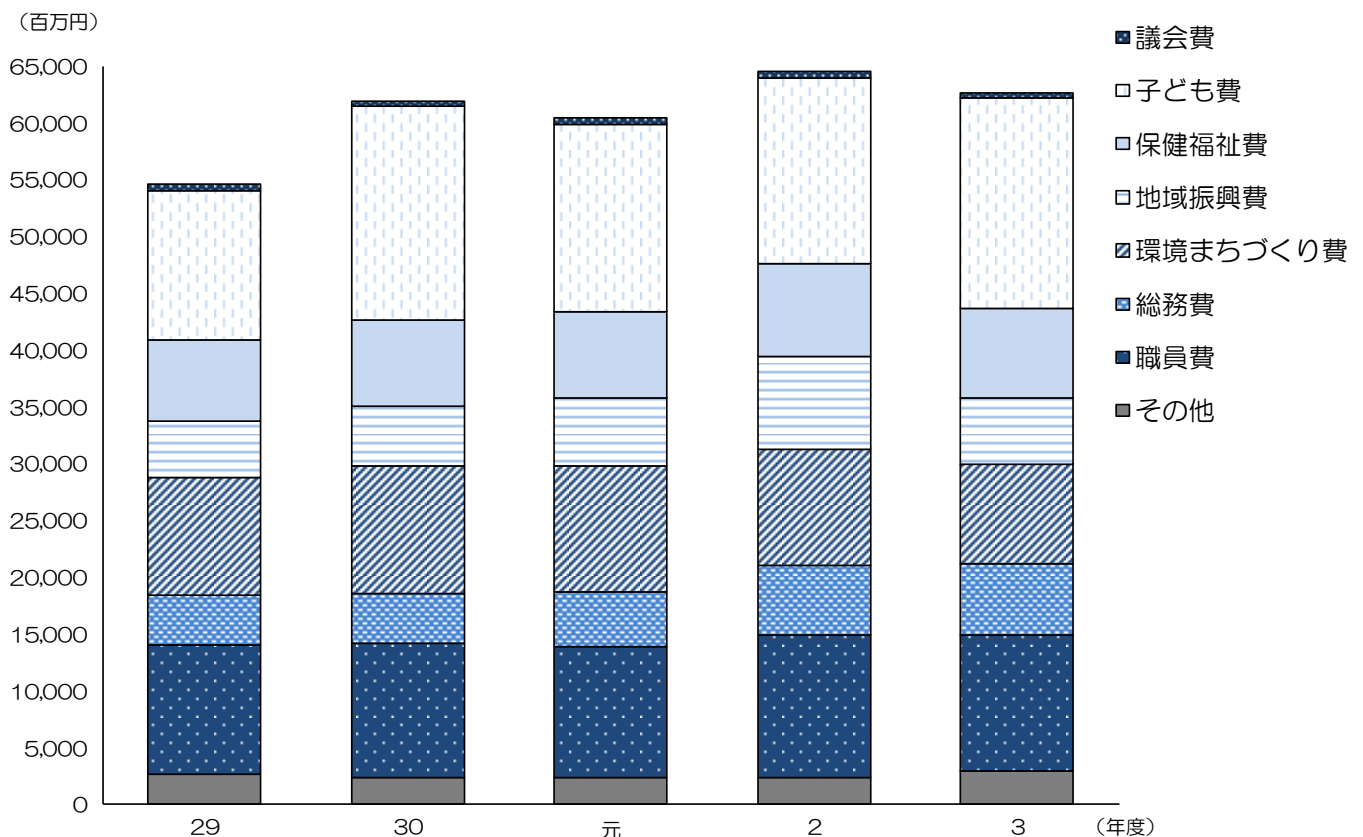
### （1）目的別歳出

- 議会費は、「議会運営システムの整備」△90百万円の減などにより、前年度対比△92百万円、△16.7%の減となりました。
- 子ども費は、「お茶の水小学校・幼稚園の整備」の事業進捗等による6億40百万円や「私立保育所等運営補助」6億13百万円、新型コロナウイルス感染症の影響による「児童手当」65百万円の増などにより、前年度対比22億24百万円、13.6%の増となりました。
- 保健福祉費は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う「健康危機管理対策」4億95百万円の増があるものの、「（仮称）二番町高齢者施設の整備」完了による△9億89百万円や新型コロナウイルス感染症対策に伴う「敬老会」休止による△14百万円の減などにより、前年度対比△3億71百万円、△4.5%の減となりました。
- 地域振興費は、「経済センサス活動調査」1億6百万円や新型コロナウイルス感染症対策に伴う「商工融資事業」91百万円の増があるものの、「（仮称）外神田一丁目公共施設整備」完了による△25億64百万円や新型コロナウイルス感染症対策に伴う「さくらまつり」休止による△98百万円の減などにより、前年度対比△22億12百万円、△27.3%の減となりました。
- 環境まちづくり費は、「地域別まちづくりの推進」3億1百万円や新型コロナウイルス感染症対策に伴う「ごみの収集・運搬」4百万円の増があるものの、「（仮称）区立麹町仮住宅の整備」完了による△17億54百万円の減などにより、前年度対比△15億6百万円、△14.7%の減となりました。
- 総務費は、「旧和泉町ポンプ所跡地の購入」△7億51百万円や新型コロナウイルス感染症対策に伴う「職員研修（海外派遣研修）」休止による△7百万円、「新年交歓会」休止による△5百万円の減があるものの、ウィズコロナにおける新しい生活様式を見据えた「全庁LANのリプレース」6億27百万円や「旧区立外神田住宅区分所有部分取得」5億12百万円の増などにより、前年度対比1億2百万円、1.6%の増となりました。
- 職員費は、定年退職者数の減などにより、前年度対比△5億94百万円、△4.7%の減となりました。
- 諸支出金は、「公共料金支払基金繰出金」5億円の増などにより、前年度対比5億16百万円、25.1%の増となりました。

### 歳出予算一覧表（目的別）

区 分 科 目	令和3年度予算額		令和2年度予算額		増(△)減額	増(△)減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 議 会 費	460,430	0.7	552,685	0.9	△92,255	△16.7
2 子 ど も 費	18,621,149	29.7	16,397,226	25.4	2,223,923	13.6
3 保 健 福 祉 費	7,863,332	12.5	8,234,009	12.7	△370,677	△4.5
4 地 域 振 興 費	5,890,200	9.4	8,101,960	12.5	△2,211,760	△27.3
5 環 境 ま ち づ くり 費	8,717,886	13.9	10,223,417	15.8	△1,505,531	△14.7
6 総 務 費	6,310,636	10.1	6,208,410	9.6	102,226	1.6
7 職 員 費	12,035,277	19.2	12,629,355	19.5	△594,078	△4.7
8 公 債 費	54,548	0.1	69,844	0.1	△15,296	△21.9
9 諸 支 出 金	2,575,302	4.1	2,058,861	3.2	516,441	25.1
10 予 備 費	250,000	0.4	150,000	0.2	100,000	66.7
歳 出 合 計	62,778,760	100.0	64,625,767	100.0	△1,847,007	△2.9

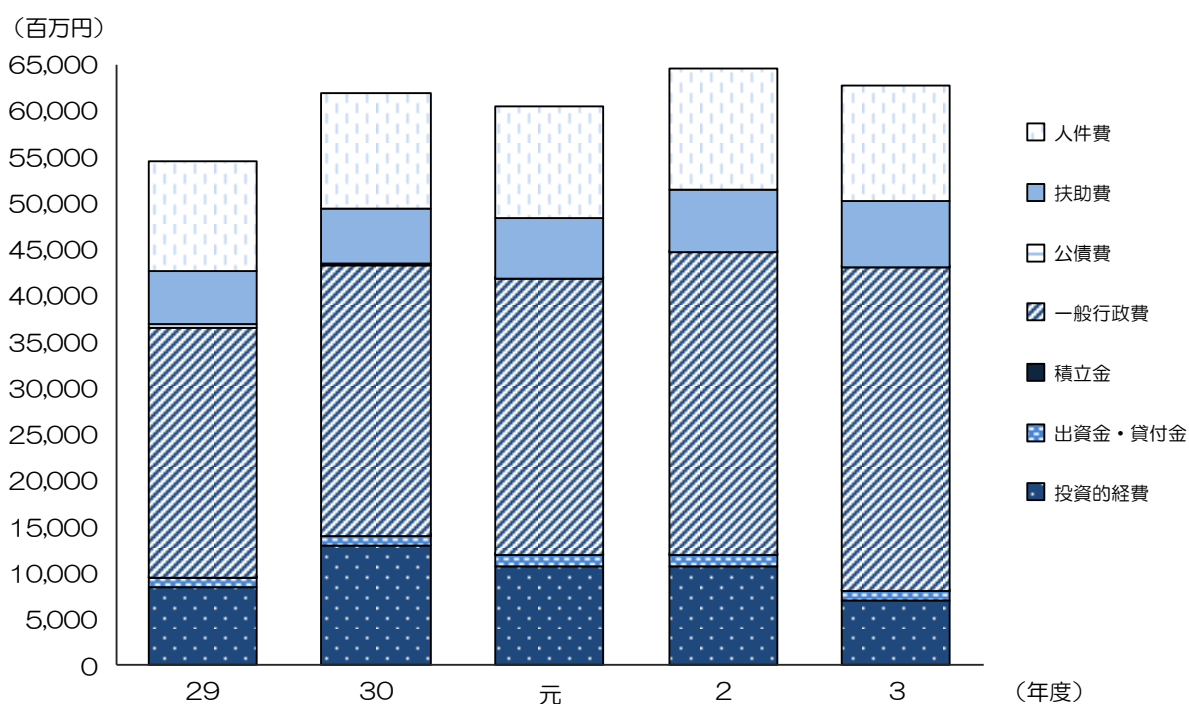
### 歳出予算額（目的別）の推移



## (2) 性質別歳出

- 義務的経費は、前年度対比△1億71百万円、△0.9%の減となりました。
- そのうち人件費は、定年退職者数の減などにより、前年度対比△5億23百万円、△4.0%の減となりました。
- 扶助費は、子ども・子育て支援法に基づく給付である「私立保育所等運営補助」1億72百万円の増などにより、前年度対比3億67百万円、5.4%の増となりました。
- 一般行政費は、前年度対比22億36百万円、6.8%の増となりました。
- そのうち物件費は、「ICT学校教育システムの推進」8億97百万円、ウィズコロナにおける新しい生活様式を見据えた「全庁LANのリプレイス」6億27百万円の増などにより、前年度対比20億27百万円、11.1%の増となりました。
- 補助費等は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う「健康危機管理対策」4億85百万円の増があるものの、「(仮称)二番町高齢者施設の整備」完了による△9億89百万円の減などにより、前年度対比△4億43百万円、△3.8%の減となりました。
- 繰出金は、「公共料金支払基金繰出金」5億円の増などにより、前年度対比5億14百万円、25.8%の増となりました。
- 投資的経費は、「お茶の水小学校・幼稚園の整備」7億28百万円の増があるものの、「(仮称)外神田一丁目公共施設整備」完了による△25億62百万円、「(仮称)麴町仮住宅の整備」完了による△17億35百万円の減などにより、前年度対比△38億16百万円、△35.3%の減となりました。

歳出予算額（性質別）の推移

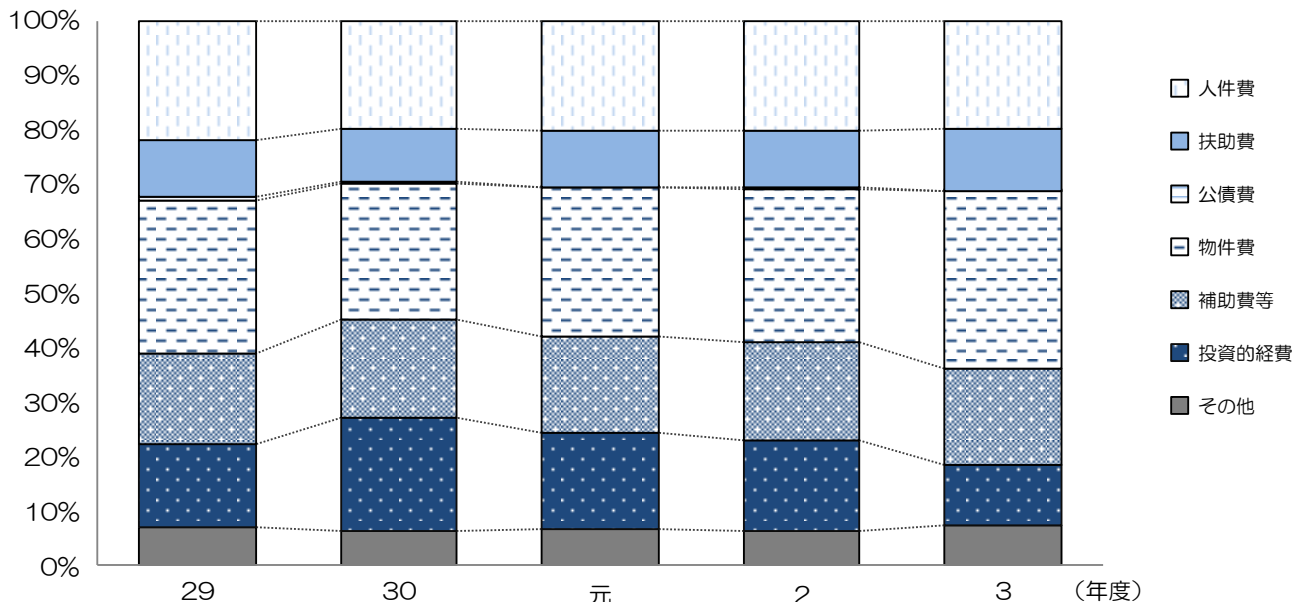


### 歳出予算一覧表（性質別）

区 分 科 目	令和3年度予算額		令和2年度予算額		増(△)減額 千円	増(△)減率 %
	金 額 千円	構成比 %	金 額 千円	構成比 %		
義務的経費	19,737,948	31.4	19,908,913	30.8	△170,965	△0.9
人件費	12,521,157	19.9	13,044,048	20.2	△522,891	△4.0
扶助費	7,162,243	11.4	6,795,021	10.5	367,222	5.4
公債費	54,548	0.1	69,844	0.1	△15,296	△21.9
一般行政費	34,979,915	55.7	32,744,309	50.7	2,235,606	6.8
物件費	20,278,757	32.3	18,252,100	28.2	2,026,657	11.1
補助費等	11,199,216	17.8	11,642,212	18.0	△442,996	△3.8
繰出金	2,508,133	4.0	1,994,115	3.1	514,018	25.8
その他	993,809	1.6	855,882	1.3	137,927	16.1
積立金	67,169	0.1	64,746	0.1	2,423	3.7
貸付金	1,003,575	1.6	1,003,575	1.6	0	0.0
出資金	-	-	97,810	0.2	△97,810	皆減
投資的経費	6,990,153	11.1	10,806,414	16.7	△3,816,261	△35.3
歳出合計	62,778,760	100.0	64,625,767	100.0	△1,847,007	△2.9

※「その他」は、維持補修費、予備費です。

### 歳出予算（性質別）構成比の推移



※「その他」は、繰出金、維持補修費、積立金、貸付金、出資金、予備費です。

## 子どもに関する取組み 予算総額 18,621 百万円 (令和2年度 16,397 百万円)

保育園と学童クラブにおける「待機児童ゼロ」の継続をめざし、私立認可保育所・私立学童クラブの整備や運営の支援を行い、子どもの健やかな成長に向けた支援を行います。また、大人も子どもも共に成長していく「共育」の理念のもとに、妊娠期を含む子育て世代や0～18歳までの子どもの成長を見通した切れ目のない支援体制の充実、子育て世代の経済的負担軽減を行い、子育て環境の向上をめざします。

### ■ 保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境を整えます

保護者の就業形態等の多様化に応じた教育・保育の形態が選べ、どの教育・保育施設でも子どもたちがのびのび成長できるよう良好な環境を整えます。

- 増大する保育需要に対応するため、令和4年度に区有地(旧高齢者センター跡地)を活用した私立認可保育所の開設をめざし、既存建物を解体し該当用地を整備するなど、保育園の待機児童ゼロの継続をめざし保育供給量の拡大に取り組みます。
- 保育所運営事業者に対し、保育士が保育に専念できるよう保育補助のための人材確保に係る経費助成「保育補助配置経費加算」等を新設します。
- 放課後子ども教室について、プログラムの充実を図るとともに、学校内学童クラブとの連携を強め、学童クラブの待機児童ゼロを継続します。
- (仮称)四番町公共施設について、既存施設の解体工事及び新築工事を進め、令和7年度の開設をめざします。
- 「千代田区の子どもたちのための就学前プログラム」について、これまでの本区における取組みに新たな保育の手法等を加えた改訂を行い、さらに保育・教育の充実を推進していきます。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
待機児童ゼロ対策（保育園・学童クラブ）				
私立保育所等整備補助（私立保育所）		442,455	1,103,958	△ 661,503
保育所用地の整備		120,439	115,382	5,057
民間事業者支援（保育園）				
私立保育所等運営補助	拡充 独自	4,185,723	3,572,799	612,924
地域型保育事業運営補助	拡充 独自	528,168	567,478	△ 39,310
認証保育所等運営補助	拡充 独自	1,325,984	1,316,773	9,211
民間事業者支援（学童クラブ）				
いずみこどもプラザ運営補助		89,235	102,862	△ 13,627
富士見わんぱくひろば事業運営		110,964	125,008	△ 14,044
放課後子ども教室		144,646	151,360	△ 6,714
学校内学童クラブ		201,798	219,339	△ 17,541
私立学童クラブ運営補助		602,774	562,149	40,625
児童施設の整備				
（仮称）四番町公共施設整備		133,596	361,300	△ 227,704
その他				
就学前プログラムの改訂	新規	4,980	0	4,980



## ■ 安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます

妊娠・出産から安心して子育てまで継続した支援を行い、子育てに関する不安が少なく、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できるまちづくりをめざします。

- 障害のある子どもや発達に課題のある子どもに「はばたきプラン（障害児ケアプラン）」を作成するとともに、支援情報をまとめた「子育てカルテ」を活用して関係機関との連携を図り、妊娠期から18歳までの切れ目ない支援を提供する体制を整えます。
- 所得制限を設けずに子どもの医療費助成を行うことで、子育て世帯をサポートします。
- 育児不安を感じる妊産婦等への支援を充実させることを目的に、子ども在宅サービスの利用期間及び利用上限を拡充します。
- 医療的ケアを必要とする児童の増加等を踏まえて、重症心身障害児等在宅レスパイト事業の利用回数の拡充及び利用料の負担を軽減します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み 主な事業	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
障害児ケアプラン「はばたきプラン」	独自	19,896	19,896	0
子どもを支援するための給付				
児童手当等の支給		978,113	920,333	57,780
こども医療費助成		446,804	411,152	35,652
子ども在宅サービス	拡充	9,365	4,995	4,370
子ども発達センター「さくらキッズ」	独自	92,494	92,304	190
重症心身障害児等在宅レスパイト事業	拡充 独自	3,030	3,630	△ 600

## ■ 他者を思いやり、人との関係をより良く築く力を共に育む教育を進めます

個に応じた指導の充実を図るとともに、多様な人間関係の中で、他者を思いやり、相手の立場に立って考えられる力を育むため、心の教育を充実します。

- 「千代田区いじめ防止等のための基本条例」に基づき、健全育成サポートチームや臨床心理士等の専門家と連携しながら、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めます。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
子どものいじめ防止対策				
いじめ防止プロジェクト	独自	8,699	8,295	404

## ■ グローバル社会で活躍する資質・能力を育て、主体的・協働的・創造的に生きる力を身に付ける質の高い教育を進めます

社会の変革に対応するため、国際教育の一層の推進に努め、学力・体力の向上を図るとともに、各学校の実情を活かした特色ある教育の充実を図ります。

- 令和2年度に、児童・生徒に一人1台のICT環境を整備し、資質・能力が一層確実に育成できるよう、国の「GIGAスクール構想」を推進するとともに、新型コロナウイルス感染拡大等による休校措置の際にも「学びの継続」ができる体制を整えました。令和3年度は、小・中学校の「ICT教育システム」・「校務支援システム」のリプレースに併せて、必要なシステムを「ICT学校教育システム」として一体化し、教員・児童・生徒の力を最大限に引き出す環境をさらに整えていきます。
- 新学習指導要領に基づき、小学校では、3・4年生には週1回、年間35時間の外国語活動を行い、5・6年生に週2回、年間70時間の「教科型」の英語を行うほか、東京都教育委員会が進める国際教育事業「Tokyo Global Gateway」を活用した校外学習を、各小学校で年1回実施し、国際理解教育の推進を図っていきます。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業					
きめ細かな指導の推進／健康・食育・体力向上プランの推進／国際教育の推進／伝統文化理解教育の推進					
特色ある教育活動		独自	73,221	71,359	1,862
きめ細かな指導の推進／健康・食育・体力向上プランの推進					
ICT教育の推進関連事業		拡充 独自	1,297,727	363,845	933,882
国際教育の推進					
国際教育の推進		独自	52,632	48,095	4,537
その他					
今後の教育のあり方検討		新規	5,174	0	5,174

## ■ 児童・生徒が安全にのびのびと成長できる環境を整えます

児童・生徒が一日の大半を過ごす教育施設を発育状況にあわせて良好な環境に整えるとともに、子どもが安全で健やかに成長できるまちづくりをめざします。

- 和泉小学校・いずみこども園等施設の建替整備について、学校関係者や保護者、地域の関係者と意見交換・情報共有を行っていくとともに、隣接する公園との一体的な整備を含めた整備方針を策定します。
- 令和2年度に着工したお茶の水小学校・幼稚園の新校舎新築工事は、令和5年度竣工をめざしています。令和3年度は、新築工事を継続するとともに、工事にあたって発見された埋蔵文化財について、出土遺物の整理や文献調査、報告書の作成などを実施します。
- 学識経験者、学校関係者、区民等で構成する「(仮称)今後の教育のあり方検討協議会」を設置し、検討・協議を行いながら、未来を担う子どもたちのために、本区の特徴を生かした、今後の教育のあり方を検討していきます。
- ウィズコロナ・アフターコロナにおける校外学習施設のあり方を含め、軽井沢少年自然の家の今後の活用策について多様な視点から幅広く検討を行います。

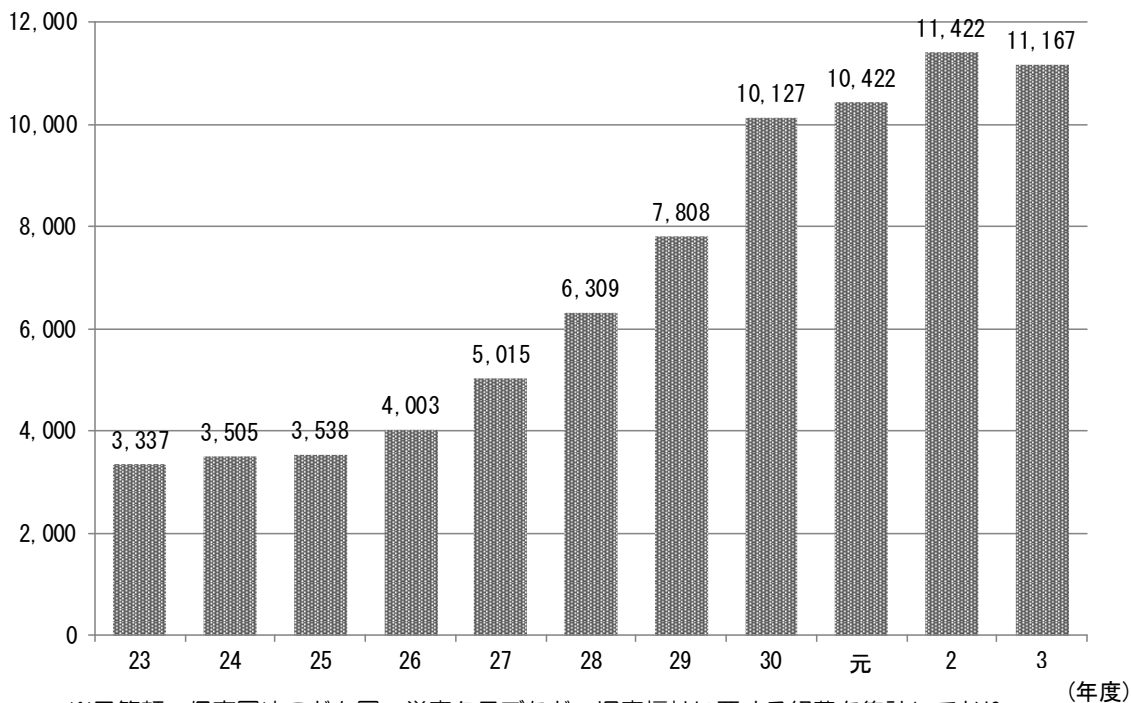
(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
教育施設の整備				
和泉小学校・いずみこども園等施設整備調査検討		6,960	7,094	△ 134
お茶の水小学校・幼稚園の整備関連事業		1,931,786	1,249,951	681,835
その他				
今後の教育のあり方検討（再掲）	新規	5,174	0	5,174
軽井沢少年自然の家のあり方検討	新規	3,000	0	3,000

● 子育て関連予算額の推移

令和3年度の子ども一人あたりの予算額は1,046千円となります。

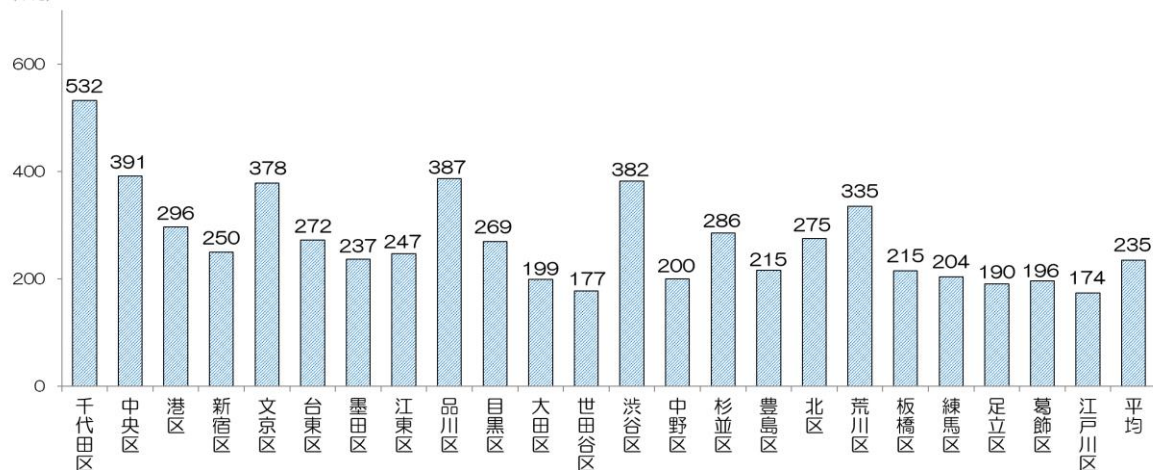
(百万円)



※予算額：保育園やこども園、学童クラブなど、児童福祉に要する経費を集計しており、職員給与費と施設整備費は含まれていません。

● 児童・生徒一人あたりの小・中学校費決算額 23区比較 (令和元年度決算)

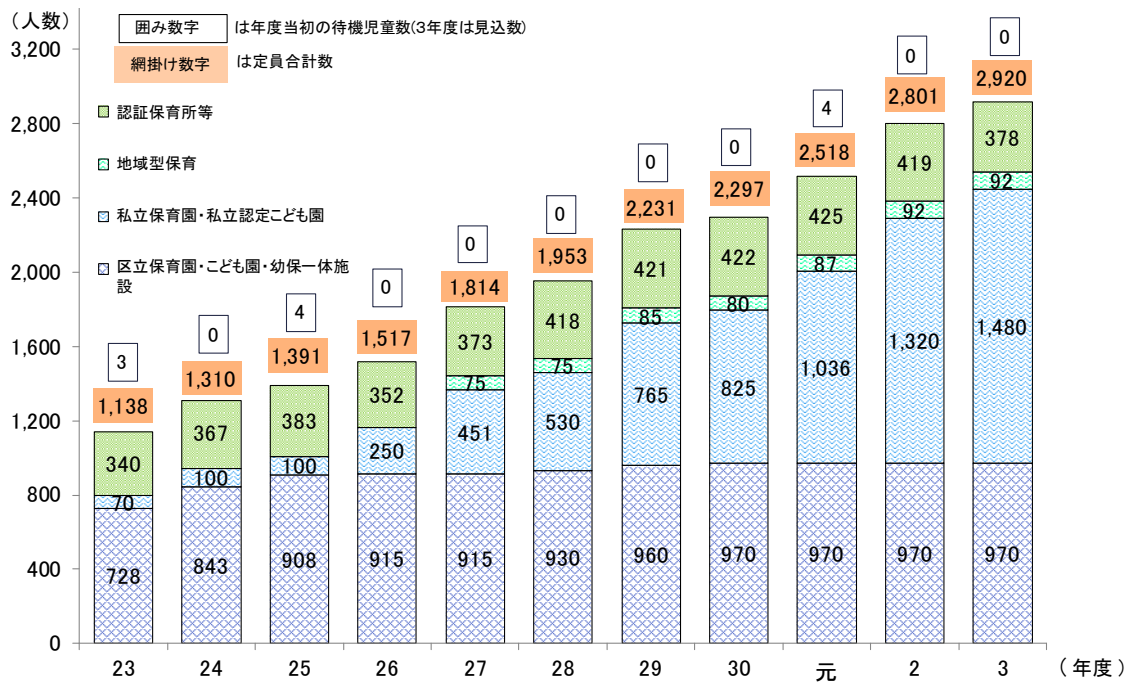
(千円)



※地方財政状況調査及び学校基本調査を基に千代田区で作成しています。

※積立金、投資的経費及び東京都教職員の人件費は含まれていません。

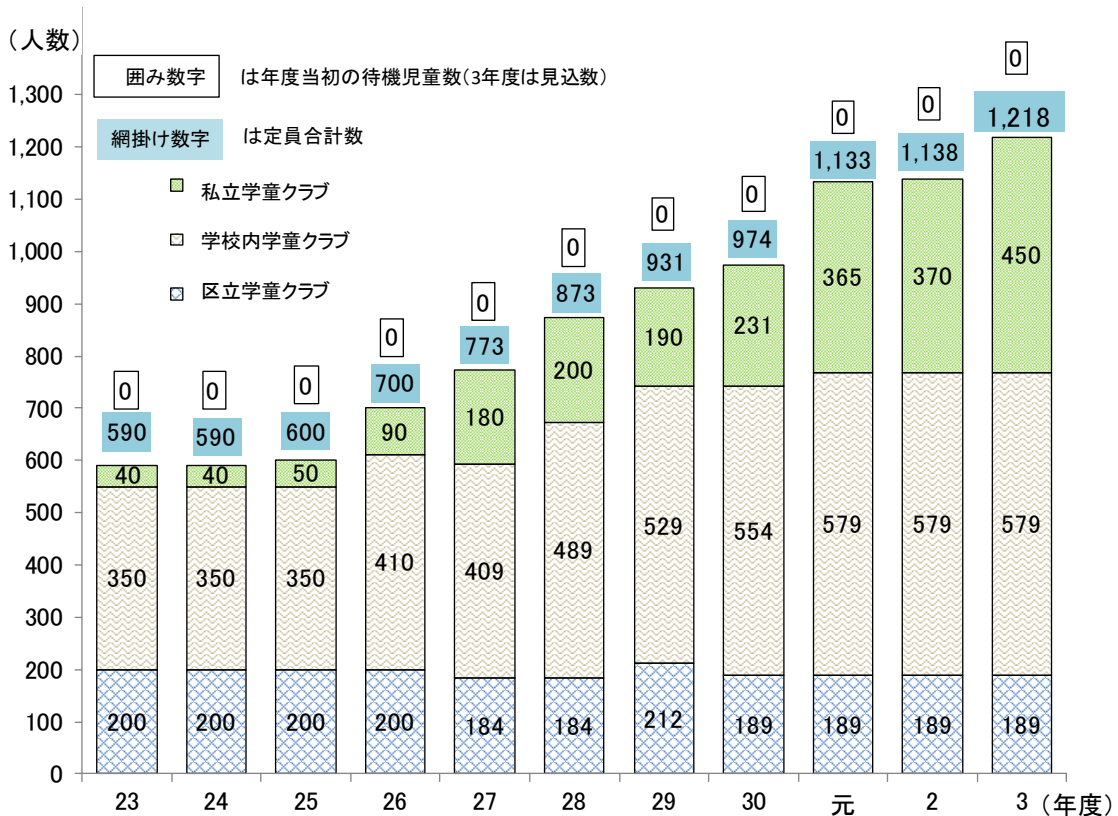
## ● 保育園の定員数と待機児童数の推移



【待機児童の定義 ※待機児童とは以下の定義を全て満たす方】

- ・認可保育園への入園申し込みを「入園できれば希望園以外でも良い」とし、区内全園を希望していても入園することができなかった。
- ・認可保育園や認証保育所等の施設に入所していない。
- ・当該年度中に内定した園を辞退していない。
- ・居宅訪問型保育事業の利用を辞退した（令和元年度から追加）。

## ● 学童クラブの定員数と待機児童数の推移



# 保健福祉に関する取組み 予算総額 7,863 百万円 (令和2年度 8,234 百万円)

障害があっても、高齢になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる千代田区の実現にむけ、地域包括ケアシステムの構築・推進・深化を図り、必要な福祉サービス基盤の整備と提供の充実に努めます。

さらに、区民の命と健康を守るため予防接種の充実などの感染症対策や子どもから高齢者までライフステージに応じた健康づくりの取組みで健康寿命の延伸をめざします。

## ■ みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます

区民、事業者、来街者等、地域を構成するすべての人々の助けあいによる減災のまちづくりを進めるとともに、危機管理即応態勢を構築していきます。

- 区は災害対策として、区内 17 か所の公共施設を避難所として指定し、災害発生時には被災者を受け入れます。しかし、避難者の中には、心身の状況から避難所での生活が難しい場合も想定されるため、その対応として福祉避難所を開設します。令和3年度は、福祉避難所の開設や運営に関する実践的な防災訓練を行い、災害発生時の対応力の強化を図ります。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
防災・減災対策の推進				
福祉避難所の防災訓練	新規	2,310	0	2,310

- 感染症や食中毒等を予防し、発生時には迅速な対応をする体制を整備します
  - 一人ひとりの健康づくりを支援します
  - 安心して医療が受けられるしくみづくりと、医療と介護の連携の推進に努めます
- 

区民等の生命と健康を守るために、感染症や食中毒等を予防するとともに、健康危機が発生した際に迅速かつ適切に対応するための体制を整備します。また、区民がいきいきと健康で生活し続けられるよう、心身の健康づくりを支援します。さらに、区民が安心して地域で生活できるよう、状況に応じて医療機関や在宅で適切な医療が受けられる仕組みを強化するとともに、医療と介護の連携推進に取り組みます。

- 新型コロナウイルス感染症に適切に対応するための体制を確保します。令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症に関する問合せを専門に受けるコールセンターの設置や緊急対応が必要となった際のPCR検査を実施します。また、感染症患者を病院等へ移送する際に、必要に応じて民間救急車等により適切な移送を行います。
- 新型コロナウイルスの検体採取を行う九段下仮設診療所を引き続き運営していきます。発熱症状等のある区民の方等を対象に、医師が必要と判断した場合、保健所を通さずに予約制でPCR検査を受けられる体制を維持していきます。また、区民の命と健康を守るため、医療提供体制が維持できるよう災害拠点病院等を支援します。さらに、三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）に対し、新型コロナウイルス感染拡大の影響の下でも安定的・持続的な診療等を行えるよう支援します。
- 九段下仮設診療所や区内医療機関で採取された検体、保健所が採取した濃厚接触者等の検体について、保健所検査室でのPCR検体検査のほかに、民間検査事業者に委託し、迅速に検査結果を伝える体制を確保していきます。
- 食品衛生法改正及び都条例の廃止を受けて、弁当販売は許可制から届出制になります。路上等で販売されている食品による食中毒の未然防止と、適正表示された食品販売の徹底を図るため、路上弁当監視員を配置し、路上販売者の現状把握と、苦情等が寄せられた際の迅速な対応を行います。
- 来街者の増加が見込まれる東京2020大会期間中の医療体制を確保するため、休日応急診療の充実を図ります。



(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業					
関係機関との協力・連携の強化					
健康危機管理対策		拡充 独自	495,955	1,434	494,521
感染症や食中毒、熱中症予防の普及啓発等					
感染症健康診断		拡充	48,757	11,956	36,801
感染症公費負担		拡充	41,069	5,653	35,416
新型コロナウイルスPCR検査		新規	38,430	0	38,430
食品衛生（許可及び監視）		拡充	24,691	10,610	14,081
予防接種の推進					
予防接種			388,445	412,509	△ 24,064
歯と口腔の健康増進					
歯科口腔保健の推進		独自	54,384	54,250	134
データに基づく効果的な健診等の推進					
成人健診			76,227	75,966	261
長寿健診			23,046	23,008	38
特定健康診査・特定保健指導（国民健康保険事業会計）			34,736	35,394	△ 658
その他					
休日応急診療		独自	60,345	56,676	3,669

## ■ 高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括ケアシステムを構築・推進します

## ■ 認知症高齢者を地域で見守り、支えるしくみを強化します

---

地域包括ケアシステムを構築、推進し、高齢者が介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりに努めます。また、認知症の早期発見と治療に努め、生涯できる限り地域で尊厳を持って生活できるような地域づくりを進めます。

- 特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの介護保険施設を運営している社会福祉法人に対して、大規模改修工事等や環境配慮に対する設備改修に係る経費の一部を助成し、利用者へのサービスや施設機能の向上を図ります。令和3年度は、区内介護保険施設の停電時の非常電源確保のため、蓄電池やポータブル発電機の購入に対して助成します。
- 8050世帯（親が80代・子が50代の世帯）の社会的孤立や生活困窮等が顕在化していることから、令和3年度は、多くの人に「8050問題」を理解してもらえよう普及啓発していきます。また、SNSを活用して相談しやすい環境を用意し、支援を必要とする方を把握するとともに、区とのつながりを作り、必要な支援を行います。
- 高齢者施策の拠点である高齢者総合サポートセンターは、新型コロナウイルス感染拡大の影響の下でも、利用者や相談者が引き続き安心して利用できる施設として運営できるよう、令和3年度は、利用者の感染防止策を徹底するため、指定管理者の総合受付業務を充実させます。
- 区内の介護サービス事業者が新型コロナウイルス感染拡大の影響の下でも、高齢者に必要不可欠な介護サービスを提供できるよう、運営経費を支援します。
- 在宅で介護している家族が新型コロナウイルス感染症に感染した場合、自宅に取り残された要介護者を緊急かつ一時的に医療機関で受け入れ、家族が療養に専念するとともに、重症化リスクの高い高齢者の家庭内での感染防止を図ります。
- 入所系介護施設の新規入所者や職員に加え、区内の介護事業者（訪問介護等事業所）の介護従事者を対象にPCR検査を実施し、利用者等の感染拡大予防と施設内クラスターの発生予防を図ります。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
フレイル対策・介護予防の推進				
フレイル対策事業	独自	10,603	12,420	△ 1,817
相談体制の充実				
高齢者総合サポートセンター管理運営（総合相談）	独自	133,000	133,000	0
よろず総合相談	独自	49,361	49,466	△ 105
包括的支援事業（介護保険特別会計）		43,500	43,500	0
8050問題等への対応				
8050対策	新規	4,665	0	4,665
介護施設等の基盤整備／認知症対応施設の整備				
介護施設改修助成	拡充 独自	59,730	69,600	△ 9,870
介護事業所運営助成	新規 独自	121,320	0	121,320
（仮称）神田錦町三丁目福祉施設整備の推進		24,560	22,400	2,160
ハイリスク高齢者への家庭訪問／認知症相談と支援サービスの充実／認知症サポーターの養成／認知症ケアパスの活用				
認知症支援サービス	独自	5,512	5,102	410
認知症総合支援事業（介護保険特別会計）		13,360	13,017	343
その他				
高齢者総合サポートセンター管理運営（指定管理料）	拡充 独自	156,781	135,581	21,200
在宅要介護者の受入体制整備事業	新規	4,890	0	4,890
介護施設等PCR検査	新規 独自	66,451	0	66,451

■ 障害があっても暮らしやすい地域をめざします  
 ■ 障害者の就労を支援します

誰にも優しい社会に向け、障害者が日常生活で必要とするサービス・支援の充実を図ります。また、障害者が地域で自立した生活を送ることができるよう就労支援を充実します。

- 障害等のある方や要介護（要支援）高齢者の増加を見据え、旧千代田保健所敷地に知的障害者向けグループホーム、認知症高齢者グループホーム及び地域交流機能を有する地域の拠点を計画しています。令和3年度は、障害者支援施設、高齢者施設の運営事業者を先行して選定し、施設の運営条件を整理します。また、地域交流スペースの活用や建物規模を検討し、設計業者、施工業者等の選定準備を行います。
- 障害等のある方が感じた「良かったこと」を通じて、地域で理解の輪を広げていくため、令和元年度に試行実施した区内の「良かったこと調査」の対象をすべての障害等のある方に拡大して本格実施します。
- 千代田区立障害者就労支援施設「ジョブ・サポート・プラザ ちよだ」は、令和4年3月31日をもって指定期間が満了となるため、次期（令和4年4月1日から令和14年3月31日まで）の指定管理者の選定を行っています。指定管理者を変更する場合でも、現指定管理者と新たな指定管理者を並行稼働させることにより、着実かつ円滑に事業を引き継ぎ、安定した事業運営をめざします。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
地域移行支援の推進／障害者就労支援の推進／障害福祉サービスによる支援				
ジョブ・サポート・プラザ ちよだ管理運営	拡充	37,135	30,298	6,837
障害者福祉センターの運営／障害児の通所支援等の推進				
障害者福祉センターえみふる管理運営	独自	286,712	289,037	△ 2,325
差別解消の対応要領の公表				
障害者に対する理解促進	拡充	7,151	2,049	5,102
障害者施設の整備				
(仮称) 神田錦町三丁目福祉施設整備の推進(再掲)		24,560	22,400	2,160

## ■ 安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます

妊娠・出産から子育てまで継続した支援を行い、子育てに関する不安が少なく、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できるまちづくりをめざします。

- 新型コロナウイルス感染症対策として、安心して出産準備が行えるよう、妊婦に対し妊婦健診受診時等に活用できるタクシー券を配付します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み 主な事業	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
妊娠・出産から育児まで切れ目のない母子保健サービス				
出産・子育て支援	拡充 独自	34,131	13,569	20,562

## ■ 福祉サービスの質の維持・向上に努めるとともに、生活困窮者に対する生活支援を強化します

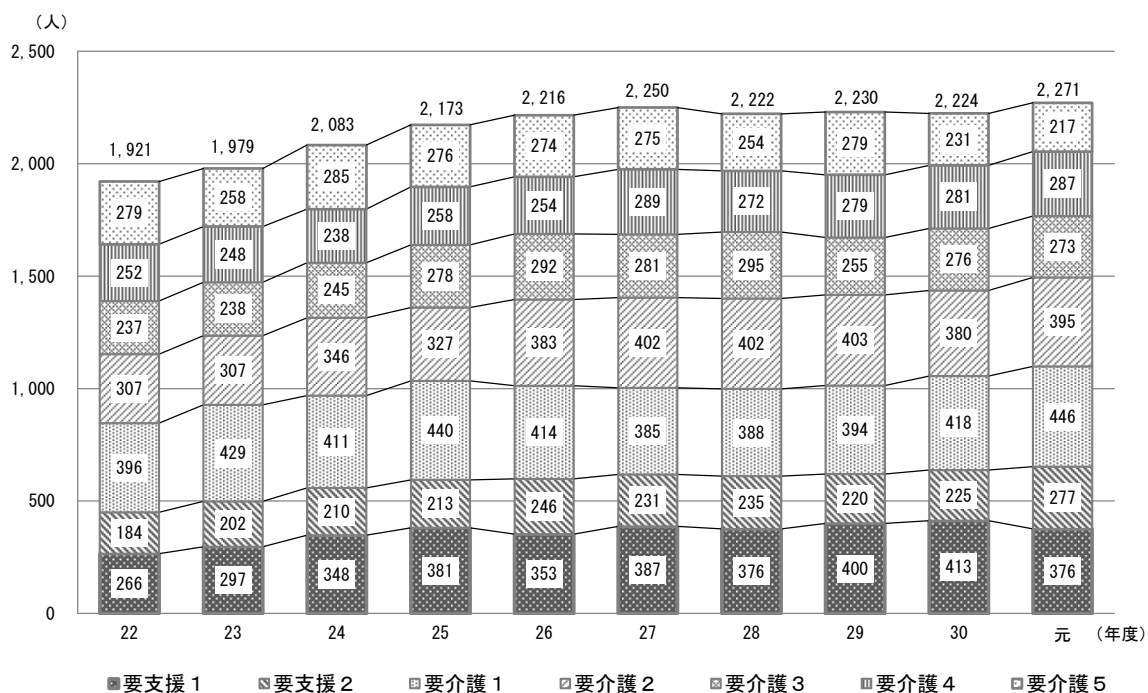
生活困窮者など困難な課題を持つ人が、住み慣れた地域で自立した安定的な生活を送れるよう、効果的な支援を行います。

- 平成30年4月の社会福祉法の一部改正により、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的支援体制の整備に関する事項が、区市町村の策定する地域福祉計画に盛り込むべき事項として新たに追加されました。令和3年度は、包括的な支援体制の整備やそれに伴う重層的支援体制整備事業の検討に向けた取組方針を明確にするため、平成29年3月に策定した地域福祉計画を改定します。

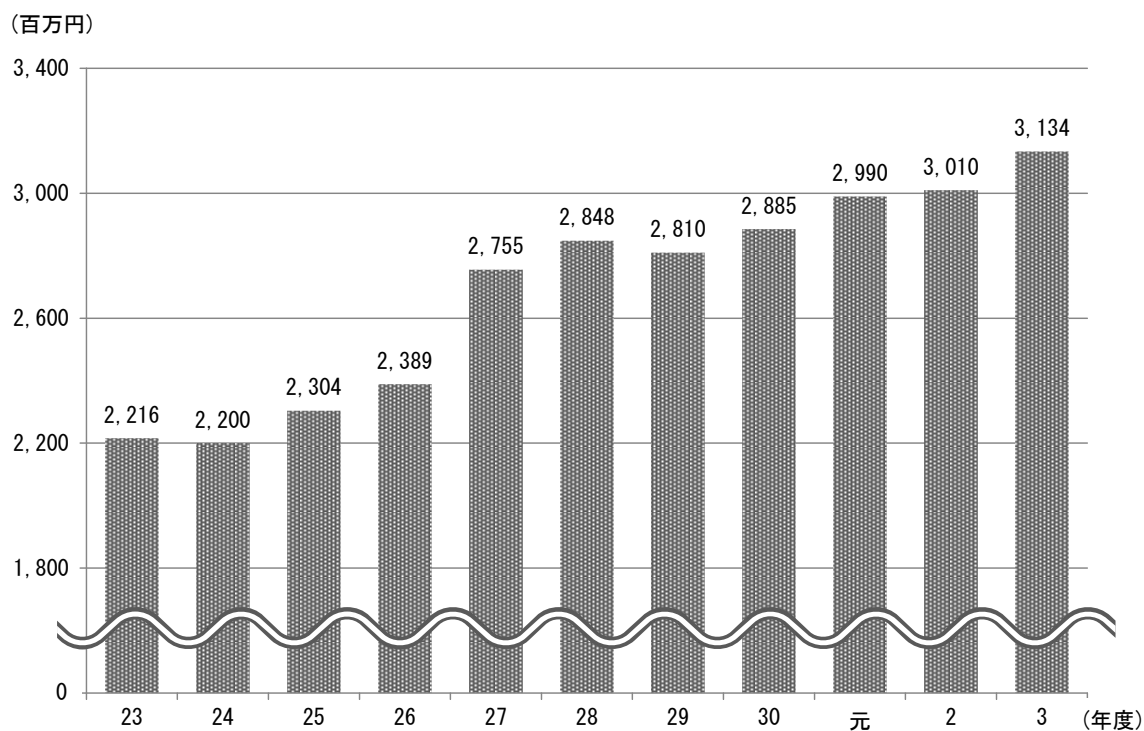
(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み 主な事業	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
その他				
地域福祉計画の改定	新規	4,588	0	4,588

● 要介護認定者の推移（各年度末時点）

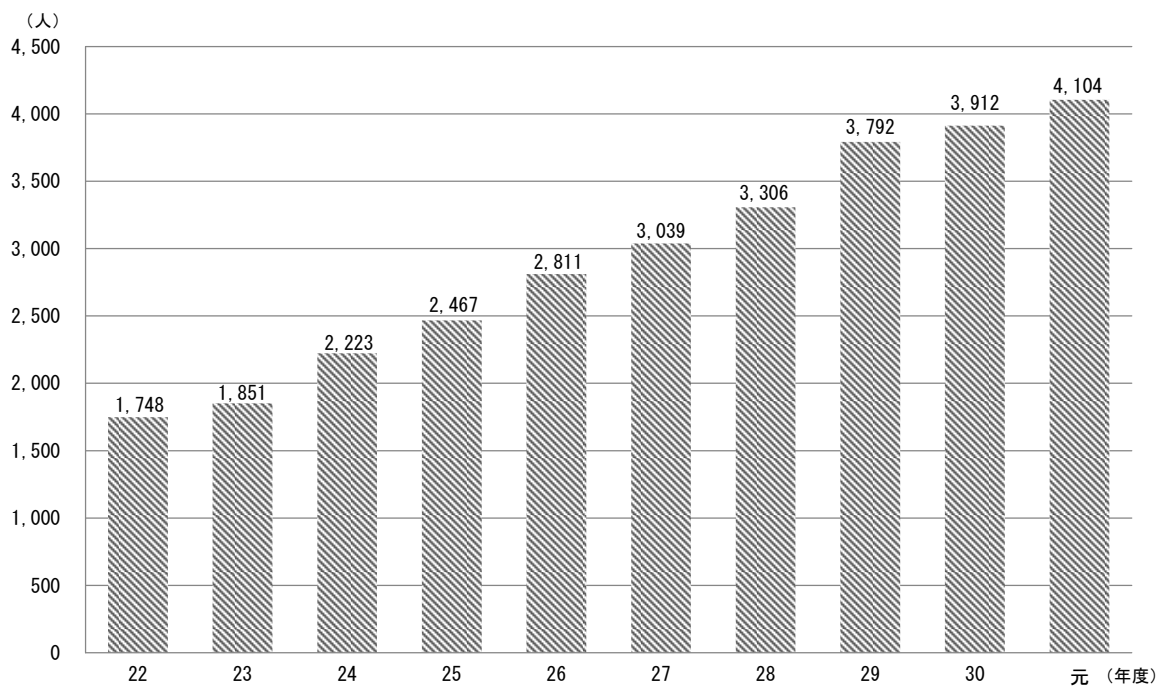


● 高齢者のための福祉サービス予算額の推移

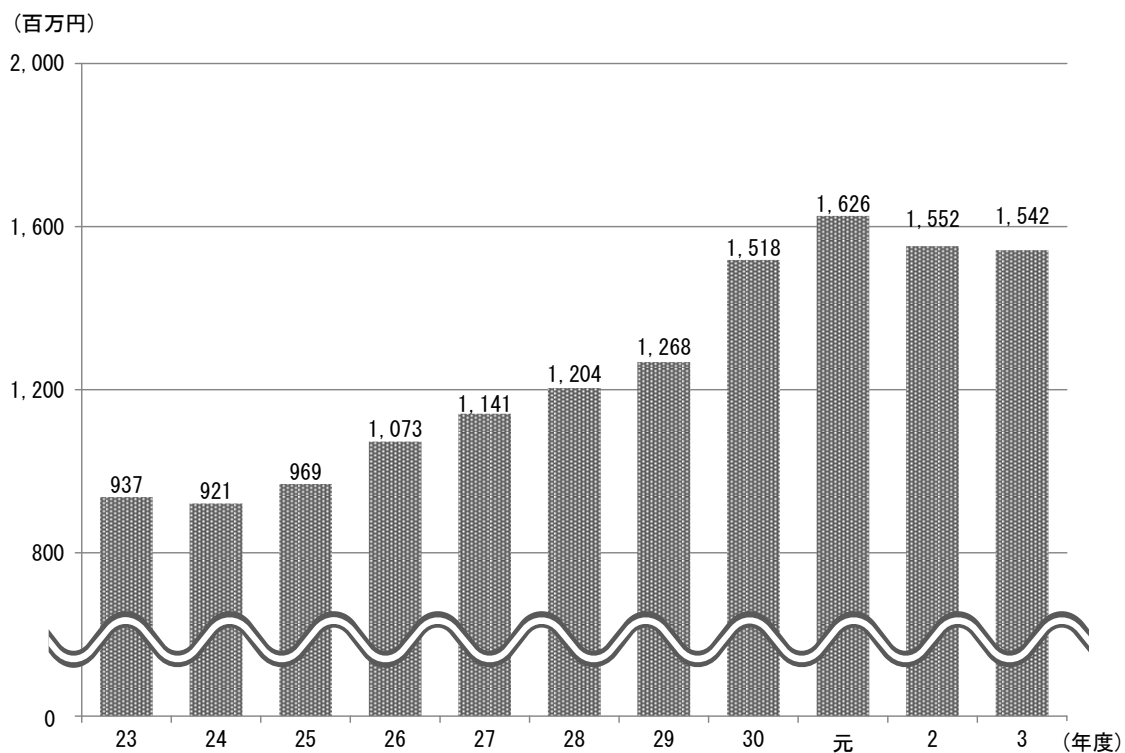


※予算額：高齢者福祉費と他会計繰出金（国民健康保険事業会計を除く。）を集計しており、職員給与費と施設整備費は含まれていません。

● 障害福祉サービスの延べ利用者数の推移（各年度末時点）



● 障害者のための福祉サービス予算額の推移



※予算額：障害者福祉費を集計しており、職員給与費と施設整備費は含まれていません。

## 特別会計

### ■ 国民健康保険事業会計

国保制度改革により、平成 30 年度からの保険料の算定は、都が標準的な保険料率を提示し、それを参考に区市町村が決定しています。

本区は引き続き、特別区の統一保険料方式ではなく、都が示した標準保険料率を参考に独自の保険料率を決定します。

令和3年度は、一人あたりの医療費の増や東京都全体に対する本区の被保険者や所得割合の増のため、都へ納める納付金が増額しました。その結果、医療分・支援金分・介護分でそれぞれ引き上げとなりますが、制度改革に伴う激変緩和策ともに、区は昨年度並みの法定外繰入金を投入することで、保険料の増加を抑制します。

#### ■ 保険料率表

区分		令和3年度	令和2年度	増減
医療分	均等割	37,300円	37,300円	—
	所得割	7.25%	7.14%	0.11ポイント増
	上限額	63万円	63万円	—
後期 高齢者 支援金分	均等割	11,000円	11,000円	—
	所得割	2.04%	1.93%	0.11ポイント増
	上限額	19万円	19万円	—
計	均等割	48,300円	48,300円	—
	所得割	9.29%	9.07%	0.22ポイント増
	上限額	82万円	82万円	—
介護 納付金分	均等割	14,200円	14,200円	—
	所得割	1.21%	0.97%	0.24ポイント増
	上限額	17万円	17万円	—
一人あたり 保険料額	介護分なし	155,134円	153,846円	1,288円増
	介護分あり	188,426円	184,074円	4,353円増

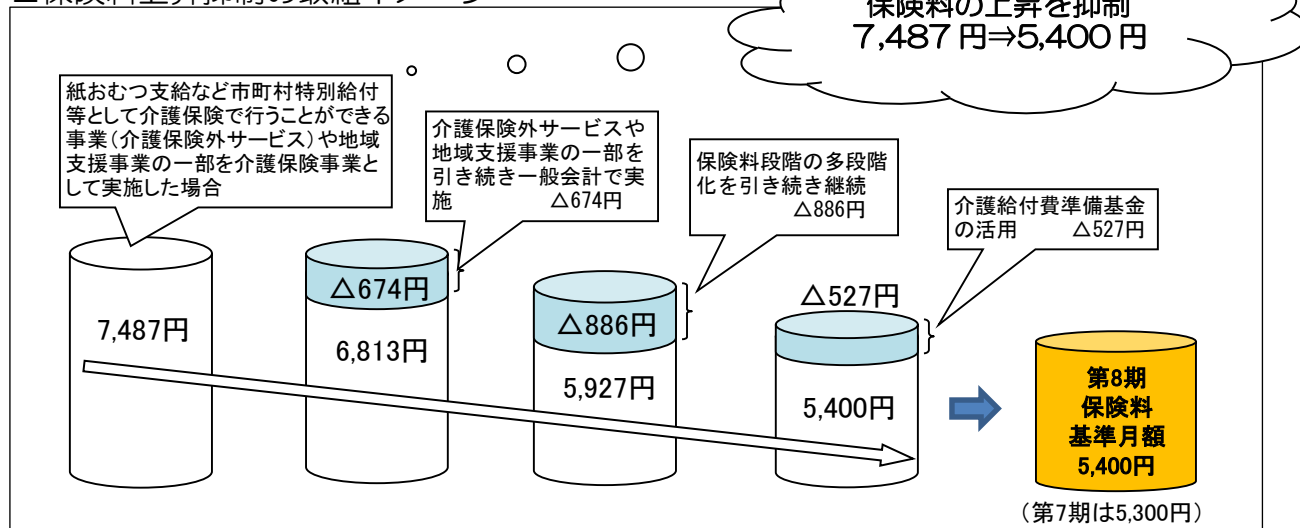
※介護納付金分は、介護保険第2号被保険者（40歳以上65歳未満）に賦課されます。



## ■ 介護保険特別会計

介護保険料は3年ごとに見直しを行っており、高齢者数及び要介護認定者数の増加数を見込んだうえで、必要となるサービス量（介護給付費や地域支援事業費）を推計し、定めています。第8期計画（令和3年度から令和5年度）において必要なサービス量は、第7期計画（平成30年度から令和2年度）の実績と比較すると、高齢化の進行や新たな施設の開設、介護報酬の増額改定等の影響により約19.4%増加する見込みです。区は、紙おむつの支給など介護保険外で実施しているサービスについて、引き続き一般会計による高齢者施策の一環として実施するとともに、国の標準保険料段階の多段階化や介護給付費準備基金の取り崩しを行い、サービス量の増加による1か月あたりの保険料基準額の上昇を抑制します。

### ■ 保険料上昇抑制の取組イメージ



## ■ 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療保険料は2年ごとに改定されます。令和3年度は令和2年度と同じ保険料率です。保険料の急激な負担増を緩和するため、都内62区市町村では、本来保険料で賄うべき葬祭費等の財源について、引き続き特別対策として令和2・3年度の2年間で217億円を負担します。

さらに、広域連合の平成30年度・令和元年度の財政収支に係る剰余金も充当することにより、保険料の上昇を抑制しています。

### ■ 保険料率

区分	令和2・3年度	平成30・令和元年度	増減
均等割	44,100円	43,300円	800円増
所得割	8.72%	8.80%	0.08ポイント減
上限額	64万円	62万円	2万円増

## 地域振興に関する取組み 予算総額 5,890 百万円 (令和2年度 8,102 百万円)

区民生活が安全かつ快適で豊かなものになるように、新型コロナウイルス感染症による影響も踏まえた支援に努めます。また、新しい生活様式の下で、区の魅力や活力を高めていくことに努めるとともに、東京 2020 大会への対応を行っていきます。

### ■ 清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます

区民や事業者、千代田区を訪れる人など、すべての人々の主体的な取組みを通じて、清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます。

- 屋内喫煙所設置助成について、喫煙所を運営する事業者の負担軽減を図るため、維持管理経費のうち賃料・賃料相当額の助成率及び助成限度額を引き上げます。また、新たな喫煙所の形態に対応するため、従来の屋内喫煙所に加え、コンテナ型の喫煙所を助成対象に追加することで、喫煙所の整備を加速化させます。
- 安全で快適なまちの実現に向けて、引き続き、地域が行う活動を支援するため、民間警備員による巡回パトロールを実施するとともに、客引き行為等防止重点地区の拡大について地域と協議を行っていきます。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
生活環境改善推進				
生活環境改善推進	独自	42,307	41,532	775
公共の場所（道路、公園等）における喫煙対策				
喫煙所設置対策	拡充 独自	363,582	351,058	12,524
客引き防止対策の推進				
客引き行為等の防止対策	独自	45,300	52,294	△ 6,994

## ■ 中小企業や商工業の活性化を支援します

中小企業の経営安定化への支援や、起業支援を行うとともに、商工業の活性化に向けた自主的な取組みを支援します。

- 新型コロナウイルス感染拡大による区内中小企業への影響を踏まえ、令和2年度から実施している「緊急経営支援特別資金」及び「小規模企業支援特別資金」による支援を継続するとともに、「緊急経営支援特別資金」を利用した小規模事業者向けに「新型コロナウイルス感染症対応借換資金」を新設し、より一層の支援を行います。併せて、小規模企業支援特別資金利用者に向けた中小企業診断士による経営診断を行うことで経営改善をサポートし、事業の継続及び成長を支援していきます。また、令和2年度から強化している中小企業診断士による相談窓口を引き続き設置することで、新型コロナウイルス感染拡大により困難を強いられている区内中小企業を支えていきます。
- 新型コロナウイルス感染拡大による区内中小企業への影響を踏まえ、商工融資事業で実施している経営相談を通じて発見した経営課題に対する新たな取組みへの補助制度を新設することにより、区内小規模事業者のチャレンジ・チェンジを支援し、区内商工業の活性化を図ります。
- 新型コロナウイルス感染拡大による商工関係団体等への影響を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策やキャッシュレス対応の支援を行うことで、区内商工業の活性化や街のにぎわい創出を図ります。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
起業支援の充実／中小ビルの活性化／商工融資・経営相談				
商工融資事業	拡充	1,220,724	1,130,176	90,548
中小企業等経営支援	拡充 独自	8,987	7,716	1,271
小規模事業者緊急経営支援事業	新規 独自	46,000	0	46,000
商工関係団体への支援				
商工関係団体等支援事業	拡充 独自	99,893	96,883	3,010

- 区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます
- 豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます

誰もが生涯を通じて多様な学習・スポーツ活動を行うことができるよう、仕組みづくりと人材育成を進めます。また、本区の持つ豊かな歴史や文化資源、文化・芸術活動について、誰もが気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます。

- 区民をはじめ、区を訪れる人が区の文化資源に触れる機会を増やし、地域の歴史と文化への関心を高めるため、東京 2020 大会期間中、日比谷図書文化館において「（仮称）浮世絵をうる・つくる・みるー紀伊国屋三谷家コレクションよりー」を開催します。また、文化財等の資源の顕在化と利活用を推進するため、令和3年度は、地域計画の策定に向けた文化財総合調査等を実施し、区における文化財の計画的な保存・活用を推進します。加えて、区で収蔵する指定文化財などを積極的に展示するため、施設の環境改善に向けた調査を行うとともに、貴重な文化財を展示できるよう、密閉式展示ケースを整備するなど、文化財の適切な保存・活用をめざし、展示環境を整えます。
- これまで日本国内からの応募作品による公募展として開催してきた「ポコラート全国公募展」を、区内大使館等とも連携しながら、文化の祭典として広く国外からの作品も集結し、国内外の文化交流を促す「障害者アート(ポコラート)世界展 2020」へと発展させ、延期された東京 2020 大会に合わせて開催します。
- 令和2年度に引き続き、東京 2020 大会の気運醸成に向けた取組みを行うとともに、大会期間中は、聖火リレー関連イベントやコミュニティライブサイトなどを実施し、区民だけでなく区を訪れる多くの観戦客や観光客などにも楽しんでもらえる取組みを進めていきます。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業					
文化資源の見える化の展開／文化財の活用に向けた適切な保存・管理					
文化財保護事業運営			219,548	134,380	85,168
文化芸術の秋フェスティバルや文化芸術鑑賞事業の展開					
障害者アート世界展2020		独自	80,000	87,000	△ 7,000

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
その他				
東京2020大会関連事業		111,085	113,262	△ 2,177

## ■ 地域力の向上を支援します

地域の絆を大切にし、いざという時に助けあえる環境を整備するため、町会、個々の在住区民、昼間区民など多様な主体の活動や連携を支援します。

- 新型コロナウイルス感染拡大による地域への影響を踏まえ、地域の状況やニーズを把握し、地域コミュニティの現状・課題を分析します。そのうえで、地域活動に関する相談・支援体制を充実させるとともに、マンションコミュニティの活性化支援、地域と区内活動団体との交流を促進することで、ウィズコロナ・アフターコロナにおける地域コミュニティの活性化を図っていきます。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
様々な活動主体の連携、協働への支援／個人としての地域活動への参加支援				
地域コミュニティ醸成支援	拡充	7,995	5,156	2,839

## 環境まちづくりに関する取組み 予算総額 8,718 百万円 (令和 2 年度 10,223 百万円)

区民の生命・財産を守るため、建築物の耐震化を進めるとともに、災害時の対応を考慮したまちづくりを進めます。また、建築物の省エネ化、CO<sub>2</sub>削減など地球温暖化対策に取り組むとともに、身近な緑や潤いある水辺空間を創出し、「住みやすさ」「居心地の良さ」が実感でき、あわせて新型コロナウイルス感染症にも対応した、機能やゆとりのある空間を考慮したまちづくりを地域と共に推進します。

### ■ 地域ごとのまちづくりのルールをつくります

### ■ 多様な暮らし方に対応した住まい・住環境づくりを進めます

地域の合意に基づいて、「地区計画制度」など都市計画の諸制度を活用し、住宅とオフィス・店舗等が調和した街並みや、街区内に緑、空間を配置するなど、良好な市街地の形成を推進します。また、様々なライフステージやライフスタイルに対応した住まい・住環境づくりを進め、居住の場としての魅力の向上に取り組みます。

- 改定検討中の「千代田区都市計画マスタープラン」を踏まえ、老朽市街地の再生や緑豊かな広場、歩行者空間を確保した街区再編、水辺など屋外の良質な空間の創出等を行っていきます。秋葉原地域では、外神田一丁目地区の地区計画策定や公共施設の機能更新に向けた調整を行います。飯田橋・富士見地域では、JR 飯田橋駅の安全対策を推進するとともに、飯田橋駅東口周辺で検討されている開発計画の調整を行います。神田駿河台地域では、御茶ノ水駅聖橋口駅前広場整備やバリアフリー対策などの駅改良、駅周辺の道路整備を計画的に進めます。神田駅周辺では、神田警察通り沿道のにぎわい形成を実現していくためのまちづくりの検討を行います。
- 区内に居住する親世帯に近居するために住替えを行う子育て世帯や新婚世帯、子どもの誕生・成長を機に区内転居する子育て世帯を対象に、家賃等の一部助成を実施し、民間の住宅ストックを活用しながら、次世代の育成を担う子育て世帯などの居住を支援します。
- 計画地区内の附置義務緩和、集約などの適正配置の推進、建物低層部のにぎわい創出や歩行環境の向上に取り組むため、令和 2 年 3 月に策定した「内神田一丁目周辺地区都市再生駐車施設配置計画」に基づき、令和 3 年度からは、身体障害者用の車や荷さばき車の駐車環境の改善を実施します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
地区計画制度の活用				
地区の計画等の検討		22,192	16,289	5,903
地域別まちづくりの推進／公共空間の活用検討				
地域別まちづくりの推進	独自	335,511	34,853	300,658
様々な分野・主体との連携による住まい・住環境づくり				
次世代育成住宅助成	独自	147,160	150,528	△ 3,368
その他				
都市再生駐車施設配置計画の運用	新規 独自	1,256	0	1,256

## ■ **だれもが移動しやすい環境の整備を進めます** ■ **建物の耐震化を促進します**

歩行者や自転車、車など、誰もが安全で、安心して、快適に移動しやすい地域交通環境を整備します。また、地震による建物の倒壊等の被害から、区民の生命・財産を保護するとともに、避難経路等の閉塞を防ぐため、建物の耐震化を促進します。

- 放置自転車撤去システムを導入し、放置自転車の撤去強化など管理の迅速化を図ります。また、駅周辺の放置自転車対策として、秋葉原周辺地区における啓発活動と撤去作業の強化を行うとともに、有楽町駅周辺地区に一時利用者向けのコインパーキングを増設するなど、誰もが安心して通行できる歩行空間を確保し、まちの景観向上、安全で快適な道路環境づくりをめざします。
- 自転車道の整備（神田警察通り）について、沿道協議会や地域などの意見を踏まえながらⅡ期区間の工事及びⅢ期区間以降の設計を実施します。
- 歩道の設置・拡幅整備（明大通りⅡ期）について、沿道協議会等により、地域と協議・調整しながら推進していきます。
- 都条例により自転車利用者の自転車損害賠償保険等への加入が令和2年度から義務化されたことから、区民が手軽に加入できる交通傷害保険を導入するとともに、

中学生を対象とする交通安全教室を実施し、自転車による交通事故対策を強化します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業					
自転車利用の推進					
放置自転車対策		拡充	155,960	150,535	5,425
自転車道の整備			109,900	234,000	△ 124,100
バリアフリー歩行空間の整備					
電線類地中化の推進			665,000	501,130	163,870
歩道の設置・拡幅整備			230,000	145,200	84,800
耐震化の啓発／建築物の所有者に対する指導・助言／耐震改修等に対する支援・助成					
建物の耐震化等促進事業			284,279	462,178	△ 177,899
その他					
交通安全推進		拡充	6,938	2,498	4,440
都市再生駐車施設配置計画の運用 (再掲)		新規 独自	1,256	0	1,256
橋梁の整備			908,430	928,000	△ 19,570



■ 身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします  
 ■ 区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます

区内に残された自然環境を次世代に引き継ぐとともに、身近な緑や親水性の高い水辺空間を創出します。また、誰もが生涯を通じて多様な学習・スポーツ活動を行うことができるよう、仕組みづくりと人材育成を進めます。

- 外濠公園総合グラウンドについて、文化庁や財務省などの関係機関や利用団体との協議・調整を継続するとともに、整備に向けた詳細設計を行います。
- 東郷元帥記念公園について、近隣住民や関係機関との合意形成を図りながら、公園下段部広場の工事を完了するとともに、上・中段部の工事を実施します。
- 錦華公園について、公園に隣接するお茶の水小学校・幼稚園の建替えと連携し、地域住民や学校関係者等の意見を伺いながら整備内容の検討と設計を行うとともに、公園整備工事に着手します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業					
地域と連携・協働した身近な緑の保全と創出					
ヒートアイランド対策・暑熱対策の推進		拡充	32,339	29,246	3,093
親水性の高い水辺空間の創出					
地域的な公害対策		拡充	10,613	3,857	6,756
その他					
外濠公園総合グラウンド整備			12,000	3,630	8,370
東郷元帥記念公園の整備			592,454	486,000	106,454
錦華公園の整備			106,000	24,000	82,000

## ■ 地球に優しい環境づくりを進めます

かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐため、政治・経済の中心地である千代田区の地域特性を踏まえ、事業継続計画（BCP）の観点を含めた温暖化対策に取り組みます。

- 「千代田区地球温暖化対策地域推進計画 2015」の改定に基づき、区民や区内事業者に再生可能エネルギー由来の電力を普及させるための手法を検討して、令和4年度の実施をめざします。また、再生可能エネルギーの効果的な活用等を推進するため、事業所ビルへ蓄電システムを設置する際の費用の助成を拡充します。
- 気候変動や深刻なヒートアイランド現象による暑熱への対策として、「(仮称)千代田区気候変動適応計画 2021」に基づき、暑熱環境に配慮が必要な子どもの施設などにWGBT（暑さ指数）測定器や日除け設備の設置を推進するとともに、今後のヒートアイランド対策計画の見直しに向けた基礎調査に着手します。
- 大気汚染防止法の一部改正により、アスベストの有無に係る事前調査方法が法定化されるなど、令和3年度から規制が強化されることから、解体工事に伴うアスベストの有無に係る事前調査結果に基づき、必要と認められる場合は工事現場への立入検査を実施します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
消費するエネルギーを減らす				
地球温暖化対策	拡充	83,125	101,482	△ 18,357
ヒートアイランド対策の推進				
ヒートアイランド対策・暑熱対策の推進 (再掲)	拡充	32,339	29,246	3,093
その他				
地域的な公害対策 (再掲)	拡充	10,613	3,857	6,756

リデュース・リユース・リサイクル（3R）を促進し、区民・事業者・行政の緊密な連携のもと、資源循環型都市千代田のさらなる構築に取り組みます。

- 住民団体による自主的な回収を支援する有価物集団回収事業において、主な回収品目である古紙の市況価格下落の影響を受ける事業者に対し、区が奨励金を支給し事業の継続を支援します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
ごみの減量				
ごみ減量・リサイクル推進	拡充	32,844	33,044	△ 200
排出指導				
事業系ごみ等対策		2,742	1,740	1,002

## 政策経営に関する取組み 予算総額 6,163 百万円 (令和2年度 6,064 百万円)

首都直下地震や集中豪雨などの自然災害、テロ等の発生に備えるため、区民、事業者、来街者等、地域を構成するすべての人々の助けあいによる減災のまちづくりを進めるとともに、危機管理即応態勢を構築していきます。

また、多様なニーズを持つ区民に対し、区民の目線に立った質の高い行政サービスを提供するため、必要な区政情報を効果的に提供していくとともに、行政サービスのあり方や仕事の進め方などについて検討・検証し、行政のデジタル化に向けた取組みを推進します。

### ■ みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます

区民、事業者、来街者等、地域を構成するすべての人々の助けあいによる減災のまちづくりを進めるとともに、危機管理即応態勢を構築していきます。

- 高潮浸水想定区域が指定されたことや神田川の洪水浸水想定区域等が見直されたことを受け、ハザードマップを新たに作成・修正するとともに、複数あるハザードマップなど関連する情報をまとめて冊子化し、区内全世帯に配布します。また、日頃の備えや水害発生時等の適切な行動につながるよう、ハザードマップや水害についての解説動画を制作し、区ホームページを通じて周知します。
- 千代田区の外国人人口は増加傾向にあり、多言語で災害情報を発信することの重要性が増している状況を踏まえ、安全・安心メールの多言語（日本語・英語・中国語・韓国語）配信を開始します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
防災・減災対策の推進／災害に強いまちづくり				
防災意識の普及・啓発	拡充	25,145	24,547	598
防災センター管理運営	拡充	14,093	28,187	△ 14,094

## ■ 区民の参画・協働と開かれた区政を実現します

区民等の積極的・主体的な参画と協働を推進するとともに、必要な区政情報を効果的に提供していきます。

- 千代田区LINE公式アカウントについて、従来の一斉配信に加え、登録者自身があらかじめ選択した区政情報を受け取ることができる「セグメント配信」を開始し、緊急情報のみならず、登録者のニーズに沿った情報の配信を行います。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
多様な手段による区政情報の発信				
SNSを活用した情報発信の強化	新規	6,952	0	6,952

## ■ 質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します

多様なニーズを持つ区民に対し、区民の目線に立った質の高い行政サービスを提供するため、限られた財源や職員を最大限に活用していきます。

- 庁内の情報化を推進し、住民サービスの向上と事務の効率化を進めていくうえで必要不可欠な情報ネットワークである全庁LANについて、複雑化したネットワークや老朽化した機器等の更新を行うとともに、従来の高度なセキュリティ対策を活かしつつ、効率性や利便性の向上に向けたシステムリプレースに着手します。また、職員が庁舎内のスペースを有効活用し、より機動的に業務を進められるようにするため、庁内の各職場において無線LAN化を進めるとともに、ウィズコロナにおける新しい生活様式を見据えてWeb会議システムやリモートワークシステムを運用していきます。
- 住民情報を扱う総合住民サービスシステムについて、デジタル化を推進し、住民サービスの向上を図るため、国が示した「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」を踏まえ、新システムの稼働に向けた調査・検証を行います。また、窓口手続のデジタル化や各種証明書等の電子交付に係る実験などを行い、行政手続オンライン化の実現に向け、効果と課題を検証します。

- 区の内部事務を支える総合行政システムについて、業務効率化やさらなるセキュリティの向上を図るため、令和5年度の新システム稼働に向けたシステムリプレースに着手します。リプレースにあたっては、内部事務の効率化に留まらず、新たな生活様式や将来の働き方改革への対応（リモートワーク）を視野に入れ、業務の標準化を進めるとともに、デジタル技術（RPA・AI）の活用を検討し、業務生産性の向上をめざします。
- デジタル化の推進にあたり、現在、区内で管理・保管している膨大な業務データを分析・調査し、既存システムの更新や新たなシステムの構築における最適化を図っていきます。また、必要なハードウェアなどの機器整備のみならず、デジタル化を図る業務運用上の統一性を確保するため、外部の専門家等の意見を取り入れながら、規定やガイドラインなどの環境整備に取り組みます。

（単位：千円）

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増(△)減額
ICTの活用等による事務の効率化				
全庁LANの運営	拡充	1,572,976	882,178	690,798
総合住民サービスシステムの運営	拡充	856,902	978,961	△ 122,059
総合行政システムのリプレース		33,623	62,209	△ 28,586
デジタル化の推進に向けた調査検討	新規	63,875	0	63,875

## 6

# 今後の財政見通し

以下の前提条件のもと、今後の財政見通しを作成しました。

### 全般的事項

- 1 一般会計で行う全事業を対象に、財源とあわせて推計しました。
- 2 経常歳出等のシーリングは、行っていません。
- 3 人口の増加による歳入・歳出への影響を見込んでいます。
- 4 令和3年度予算の数値を基礎として、下記の要因を見込んでいます。

### 歳入

- 1 **特別区税**  
特別区民税、特別区たばこ税、軽自動車税、入湯税の合計です。特別区民税は、人口の増に伴う納税義務者数の増を見込んでいます。特別区たばこ税は、税率の改定による影響やたばこ売渡本数の減を見込んでいます。
- 2 **地方消費税交付金**  
暦日要因による影響等を見込んでいます。
- 3 **基金繰入金**  
様々な目的のために区で設置している各種基金の取崩しです。  
歳出の増減に伴い、財源として繰り入れる基金繰入の増減等を見込んでいます。
- 4 **その他の一般財源**  
基金利子については、その利率を固定（0.05%）で見込んでいます。
- 5 **その他の特定財源**  
道路占用料の改定による増や歳出増減に伴う国・都支出金の増減などを見込んでいます。

### 歳出

- 1 **義務的経費**  
法令等で支出が義務付けられており、任意に削減できない経費で、人件費、扶助費（生活保護費など、社会保障制度の一環として、各種法令等に基づき行う給付に要する経費）、公債費（区の借金の返済に要する経費）の合計です。  
人件費は、定年退職者数の増減による退職手当の増減等を見込んでいます。扶助費は、人口の増による給付の増を見込んでいます。公債費は、既発債の償還を見込んでいます。
- 2 **投資的経費**  
学校、区民施設や道路・橋梁の整備等に係る経費です。施設整備の進捗や計画的な施設保全経費等を見込んでいます。
- 3 **一般的な事業費**  
上記1、2以外の全ての歳出で、施設の運営に係る委託料、民間の保育施設や高齢者施設などへの補助、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険の区負担分等の合計です。

### 区債残高（年度末）

区債の新規発行をせずに既発債を償還した結果、各年度末に見込まれる区債残高です。

### 基金残高（年度末）

各年度の基金繰入や運用利子積立の結果、各年度末に見込まれる基金残高です。

令和3年度～令和12年度の財政見通し（一般会計ベース）

（単位：百万円）

区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8～12年度	合計
歳入（A）	62,779	64,924	69,251	68,180	61,110	300,130	626,374
一般財源	34,302	35,818	37,366	37,257	38,461	196,574	379,778
特別区税	19,493	20,606	21,717	22,503	22,807	117,396	224,522
地方消費税交付金	9,600	10,000	10,300	9,400	10,300	52,408	102,008
財政調整交付金	3,891	3,869	4,006	4,006	4,006	20,030	39,808
その他の一般財源	1,318	1,343	1,343	1,348	1,348	6,740	13,440
特定財源	28,477	29,106	31,885	30,923	22,649	103,556	246,596
国・都支出金	7,482	7,681	8,424	8,041	7,570	38,349	77,547
基金繰入金	11,994	10,609	12,621	12,067	4,814	13,545	65,650
財政調整基金	4,571	1,773	0	0	0	4,421	10,765
その他特定目的基金	7,423	8,836	12,621	12,067	4,814	9,124	54,885
その他の特定財源	9,001	10,816	10,840	10,815	10,265	51,662	103,399
歳出（B）	62,779	64,924	69,251	68,180	61,110	300,130	626,374
義務的経費	19,738	20,287	20,670	21,044	21,311	109,442	212,492
人件費	12,521	12,869	12,892	13,093	13,185	66,770	131,330
職員給与費	9,333	9,593	9,802	9,985	10,154	51,837	100,704
退職手当	791	880	694	712	635	2,953	6,665
その他の人件費	2,397	2,396	2,396	2,396	2,396	11,980	23,961
扶助費	7,162	7,403	7,778	7,951	8,126	42,672	81,092
公債費	55	15	0	0	0	0	70
投資的経費	6,990	8,748	13,127	14,070	6,891	27,000	76,826
一般的な事業費	36,051	35,889	35,454	33,066	32,908	163,688	337,056
差引収支（A）-（B）	0	0	0	0	0	0	0
区債残高（年度末）	15	0	0	0	0	0	
基金残高（年度末）	91,537	80,977	68,402	56,376	51,597	38,173	
財政調整基金	33,207	31,453	31,470	31,486	31,502	27,160	
その他特定目的基金	58,329	49,524	36,932	24,890	20,095	11,013	
基金残高（対3年度末増減）	0	△ 10,560	△ 23,135	△ 35,161	△ 39,940	△ 53,364	

**POINT** 今後も健全な財政運営をめざします

- 区の平成12年度決算における経常収支比率は88.5%、人件費比率は34.7%でした。そこで区では、平成13年度末に「千代田区行財政改革に関する基本条例」を制定し、経常収支比率85%程度、人件費比率25%程度の財政指標を定め、行財政効率化を推進してきました。その結果、令和元年度決算における経常収支比率は72.7%、人件費比率は19.3%となっています。さらに、道路占用料の改定などの歳入確保や事務事業の見直し・再構築などにも取り組み、持続可能な財政運営を図ってきました。
- 今回の財政見通しでは、基金は、今後10年間で子育てや高齢者施策、施設整備等に657億円を活用し、令和12年度末残高は382億円となる見込みです。
- また、区では平成12年度以降、新たに区債（借金）を発行しておらず、令和4年度に償還完了（完済）する予定となっており、将来世代に負担を残さない財政運営を行っています。
- 引き続き、歳入確保や事務事業の見直し・再構築を行うとともに、様々な行政需要に対し、基金を有効に活用しながら、「千代田区行財政改革に関する基本条例」で定めた財政指標を堅持し、健全な財政運営を行っていきます。



令和3年度～令和12年度の財政見通しにおける基金充当一覧

(単位：百万円)

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8～12年度	合計
<b>基金繰入金合計</b>	11,994	10,609	12,621	12,067	4,814	13,545	65,650
<b>財政調整基金繰入金</b>	4,571	1,773	0	0	0	4,421	10,765
旧区立外神田区分所有部分取得	532	0	0	0	0	0	532
公共料金支払基金繰出金	500	0	0	0	0	0	500
財源不足対応分	3,539	1,773	0	0	0	4,421	9,733
<b>コミュニティ活性化基金繰入金</b>	76	76	76	76	76	380	760
商工関係団体等支援事業	64	64	64	64	64	320	640
地域コミュニティ活性化事業	12	12	12	12	12	60	120
<b>社会資本等整備基金繰入金</b>	5,139	6,226	9,226	8,925	2,538	3,204	35,258
区有施設整備・都市基盤整備等	5,139	6,226	9,226	8,925	2,538	3,204	35,258
<b>地域福祉支援基金繰入金</b>	8	8	8	8	8	40	80
社会福祉協議会支援	8	8	8	8	8	40	80
<b>災害対策基金繰入金</b>	224	224	128	128	128	640	1,472
備蓄物資・機器等の整備等	224	224	128	128	128	640	1,472
<b>高齢者福祉基金繰入金</b>	472	477	481	486	491	2,582	4,989
運営費補助等	472	477	481	486	491	2,582	4,989
<b>環境対策基金繰入金</b>	241	241	241	241	241	1,205	2,410
各種助成制度等	241	241	241	241	241	1,205	2,410
<b>子ども・子育て支援事業基金繰入金</b>	1,262	657	904	312	204	1,073	4,412
施設整備補助	346	349	594	0	0	0	1,289
運営費補助等	916	308	310	312	204	1,073	3,123
<b>新規・拡充事業相当分</b>	0	927	1,557	1,891	1,128	0	5,503
高齢者福祉基金、環境対策基金、子ども・子育て支援事業基金	0	927	1,557	1,891	1,128	0	5,503

各事業の見通し

事業の継続性を図り、財政の「見える化」をさらに進めるため、新規・拡充・主要事業の各事業別の見通しを作成しました。

■子ども部

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和3年度 予算額	令和4年度 見込額	令和5年度 見込額	見込額の考え方
事業名				
保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境を整えます				
私立保育所等整備補助（私立保育所）	442	681	1,161	令和4年度に1園、令和5年度に2園の開設を見込んでいます
保育所用地の整備	120	—	—	保育需要に対応するよう、状況に応じて整備を進めます
私立保育所等運営補助	4,186	4,487	5,090	私立認可保育所数の増加を見込んでいます
地域型保育事業運営補助	528	528	528	引き続き、地域型保育事業への運営補助を実施します
認証保育所等運営補助	1,326	1,326	1,326	引き続き、認証保育所等への運営補助を実施します
就学前プログラムの改訂	5			令和3年度完了
いすみこどもプラザ運営補助	89	89	89	引き続き、いすみこどもプラザへの運営補助を実施します
富士見わんぱくひろば事業運営	111	111	111	引き続き、富士見わんぱくひろば事業を実施します
放課後子どもプラン	346	346	351	令和5年度に2校について、夏休み等の長期休暇中の開室開始に伴う経費の増加を見込んでいます
私立学童クラブ運営補助	603	603	603	引き続き、私立学童クラブへの運営補助を実施します
（仮称）四番町公共施設整備	134	1,213	927	整備スケジュールに基づき工事を進めます（図書館・区営住宅等を含む）
安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます				
次世代育成手当	105	109	112	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
児童手当	874	909	935	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
こども医療費助成	447	465	478	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
子ども在宅サービス	9	9	9	引き続き、子ども在宅サービスを実施します

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和3年度 予算額	令和4年度 見込額	令和5年度 見込額	見込額の考え方
安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます				
子ども発達センター「さくらキッズ」	92	96	99	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
重症心身障害児等在宅レスパイト事業	3	3	3	引き続き、重症心身障害児等在宅レスパイト事業を実施します
障害児ケアプラン「はばたきプラン」	20	21	21	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
他者を思いやり、人との関係をより良く築く力を共に育む教育を進めます				
いじめ防止プロジェクト	9	9	9	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
グローバル社会で活躍する資質・能力を育て、主体的・協働的・創造的に生きる力を身に付ける質の高い教育を進めます				
国際教育の推進	53	55	56	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
特色ある教育活動	73	76	78	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
ICT学校教育システムの推進	1,124	857	1,081	人口増及びシステムリプレースに伴う経費を見込んでいます（小学校管理分・中学校管理分）
ICT教育の推進	174	174	174	引き続き、ICT教育を推進します
児童・生徒が安全にのびのびと成長できる環境を整えます				
和泉小学校・いずみこども園等施設整備調査検討	7	—	—	令和3年度に整備方針を策定し、令和4年度以降設計等を進めます
今後の教育のあり方検討	5	—	—	令和3年度の調査・検討結果を踏まえ、令和4年度以降今後の教育のあり方について取組みを進めます
軽井沢少年自然の家のあり方検討	3	—	—	令和3年度の調査・検討結果を踏まえ、令和4年度以降軽井沢少年自然の家のあり方について取組みを進めます
お茶の水小学校・幼稚園仮校舎運営	179	179	60	引き続き、本校舎移転までの仮校舎運営を実施します
お茶の水小学校・幼稚園の整備	1,753	2,050	6,157	整備スケジュールに基づき工事を進めます

■保健福祉部

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和3年度 予算額	令和4年度 見込額	令和5年度 見込額	見込額の考え方
事業名				
みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます				
福祉避難所の防災訓練	2	12	12	令和4年度からすべての福祉避難所での防災訓練の実施を見込んでいます。
感染症や食中毒等を予防し、発生時には迅速な対応をする体制を整備します				
予防接種	388	396	404	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
感染症健康診断	49	49	49	引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、感染症対策を実施します
感染症公費負担	41	41	41	引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、感染症対策を実施します
健康危機管理対策	496	496	496	引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、感染症対策を実施します
新型コロナウイルスPCR検査	38	38	38	引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、感染症対策を実施します
食品衛生（許可及び監視）	25	15	15	令和3年度は、食品総合システムのリプレースを含んでいます
一人ひとりの健康づくりを支援します				
成人健診	76	78	79	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
長寿健診	23	23	24	老年人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
歯科口腔保健の推進	54	55	56	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
特定健康診査・特定保健指導（国民健康保険事業会計）	35	35	36	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
安心して医療が受けられるしくみづくりと、医療と介護の連携の推進に努めます				
休日応急診療	60	52	52	令和3年度は、東京2020大会対応を含んでいます
高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括ケアシステムを構築・推進します				
8050対策	5	5	5	引き続き、8050対策を実施します
高齢者総合サポートセンター管理運営（総合相談）	133	133	133	引き続き、総合相談を実施します
高齢者総合サポートセンター管理運営（指定管理料）	157	157	158	引き続き、高齢者総合サポートセンターの管理運営を実施します

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標		令和3年度 予算額	令和4年度 見込額	令和5年度 見込額	見込額の考え方
事業名					
高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括ケアシステムを構築・推進します					
介護施設改修助成	60	9	9	令和3年度は、シロール麹町増床改修を含んでいます	
介護事業所運営助成	121	121	121	引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、感染症対策を実施します	
よろず総合相談	49	49	49	引き続き、よろず総合相談を実施します	
在宅要介護者の受入体制整備事業	5	5	5	引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、感染症対策を実施します	
フレイル対策事業	11	11	11	引き続き、フレイル対策事業を実施します	
(仮称) 神田錦町三丁目福祉施設整備の推進	25	25	25	引き続き、(仮称) 神田錦町三丁目福祉施設整備の推進を実施します	
介護施設等PCR検査	66	66	66	引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、感染症対策を実施します	
包括的支援事業（介護保険特別会計）	44	44	44	引き続き、包括的支援事業を実施します	
認知症高齢者を地域で見守り、支えるしくみを強化します					
認知症支援サービス	6	6	6	引き続き、認知症支援サービスを実施します	
認知症総合支援事業（介護保険特別会計）	13	13	13	引き続き、認知症総合支援事業を実施します	
障害があっても暮らしやすい地域をめざします					
障害者に対する理解促進	7	2	2	令和3年度は、「良かったこと調査」の実施を含んでいます	
障害者福祉センターえみふる管理運営	287	288	288	指定管理料の収支計画に基づく経費を見込んでいます	
(仮称) 神田錦町三丁目福祉施設整備の推進	25	25	25	引き続き、(仮称) 神田錦町三丁目福祉施設整備の推進を実施します	
障害者の就労を支援します					
ジョブ・サポート・プラザ ちよだ管理運営	37	36	36	令和3年度は、準備業務支援を含んでいます	
安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます					
出産・子育て支援	34	20	20	令和3年度は、妊婦用タクシー券の配付の実施を含んでいます	
福祉サービスの質の維持・向上に努めるとともに、生活困窮者に対する生活支援を強化します					
地域福祉計画の改定	5			令和3年度完了	

■ 地域振興部

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和3年度 予算額	令和4年度 見込額	令和5年度 見込額	見込額の考え方
<b>事業名</b>				
清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます				
生活環境改善推進	42	42	42	引き続き、生活環境改善の取組みを実施します
喫煙所設置対策	364	387	410	喫煙所設置数の増による維持管理費用の助成の増を見込んでいます
客引き行為等の防止対策	45	45	45	引き続き、客引き行為等の防止対策を実施します
中小企業や商工業の活性化を支援します				
商工融資事業	1,221	1,166	1,178	令和3年度は新設する借換資金の信用保証料を含んでおり、融資額の増による利子補給金の増を見込んでいます
商工関係団体等支援事業	100	100	100	引き続き、中小企業や商工業の活性化を支援します
中小企業等経営支援	9	9	9	引き続き、中小企業や商工業の活性化を支援します
小規模事業者緊急経営支援事業	46			令和3年度完了
区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます				
東京2020大会関連事業	111			令和3年度完了
豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます				
障害者アート世界展2020	80			令和3年度完了
文化財保護事業運営	220	—	—	令和3年度の施設環境調査に基づき、必要な取組みを実施していきます
地域力の向上を支援します				
地域コミュニティ醸成支援	8	5	5	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた地域コミュニティの現状分析等を含んでいます

## ■環境まちづくり部

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和3年度 予算額	令和4年度 見込額	令和5年度 見込額	見込額の考え方
<b>地域ごとのまちづくりのルールをつくります</b>				
都市再生駐車施設配置計画の運用	1	1	1	引き続き、都市再生駐車施設配置計画の運用を推進します
地区の計画等の検討	22	23	23	引き続き、地区の計画等の検討を推進します
秋葉原地域まちづくりの推進	4	5	5	引き続き、秋葉原地域のまちづくりを推進します
飯田橋・富士見地域まちづくりの推進	15	15	15	引き続き、飯田橋・富士見地域のまちづくりを推進します
神田駿河台地域まちづくりの推進	313	83	253	御茶ノ水駅聖橋口駅前広場機能整備の事業進捗を見込んでいます
神田駅周辺地域まちづくりの推進	3	4	4	引き続き、神田駅周辺地域のまちづくりを推進します
<b>多様な暮らし方に対応した住まい・住環境づくりを進めます</b>				
次世代育成住宅助成	147	147	147	引き続き、次世代育成住宅助成を実施します
<b>だれもが移動しやすい環境の整備を進めます</b>				
交通安全推進	7	7	7	引き続き、交通安全推進を実施します
放置自転車対策	156	147	147	令和3年度に放置自転車等撤去システム導入し、自転車撤去作業の改善を見込んでいます
電線類地中化の推進	665	855	465	大神宮通り、多町大通り南周辺、二七通り、和泉公園周辺の事業進捗を見込んでいます
歩道の設置・拡幅整備	230	285	20	明大通りⅡ期の事業進捗を見込んでいます
橋梁の整備	908	1,517	1,923	お茶の水橋・後楽橋・雉子橋の事業進捗を見込んでいます
自転車道の整備	110	490	460	神田警察通りの事業進捗を見込んでいます
<b>建物の耐震化を促進します</b>				
建物の耐震化等促進事業	284	403	403	耐震診断や耐震改修等の助成経費の増加を見込んでいます

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和3年度 予算額	令和4年度 見込額	令和5年度 見込額	見込額の考え方
<b>事業名</b>				
身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします				
外濠公園総合グラウンド整備	12	—	—	令和3年度の詳細設計に基づき、工事を実施します
東郷元帥記念公園の整備	592	439		令和4年度の工事完了を見込んでいます
錦華公園の整備	106	395		令和4年度の工事完了を見込んでいます
地球に優しい環境づくりを進めます				
ヒートアイランド対策・暑熱対策の推進	32	33	34	クールスポットやヒートアイランド対策の助成経費、暑熱対策経費の増加を見込んでいます
地球温暖化対策の推進	12	7	7	令和3年度は再生可能エネルギーの普及促進調査を含んでいます
建築物の省エネ推進	69	70	72	省エネ設備の導入助成の経費の増加を見込んでいます
第4次実行計画の推進	3	3	3	引き続き、「千代田区地球温暖化対策第4次実行計画」に基づき、事業を実施します
地域的な公害対策	11	11	11	引き続き、地域的な公害対策を実施します
資源循環型都市をめざします				
事業系ごみ等対策	3	2	2	令和3年度は、普及啓発DVDの作成経費を含んでいます
ごみ減量・リサイクル推進	33	31	34	令和3年度と令和5年度は、資源とごみの分け方・出し方冊子などの作成経費を含んでいます



■ 政策経営部

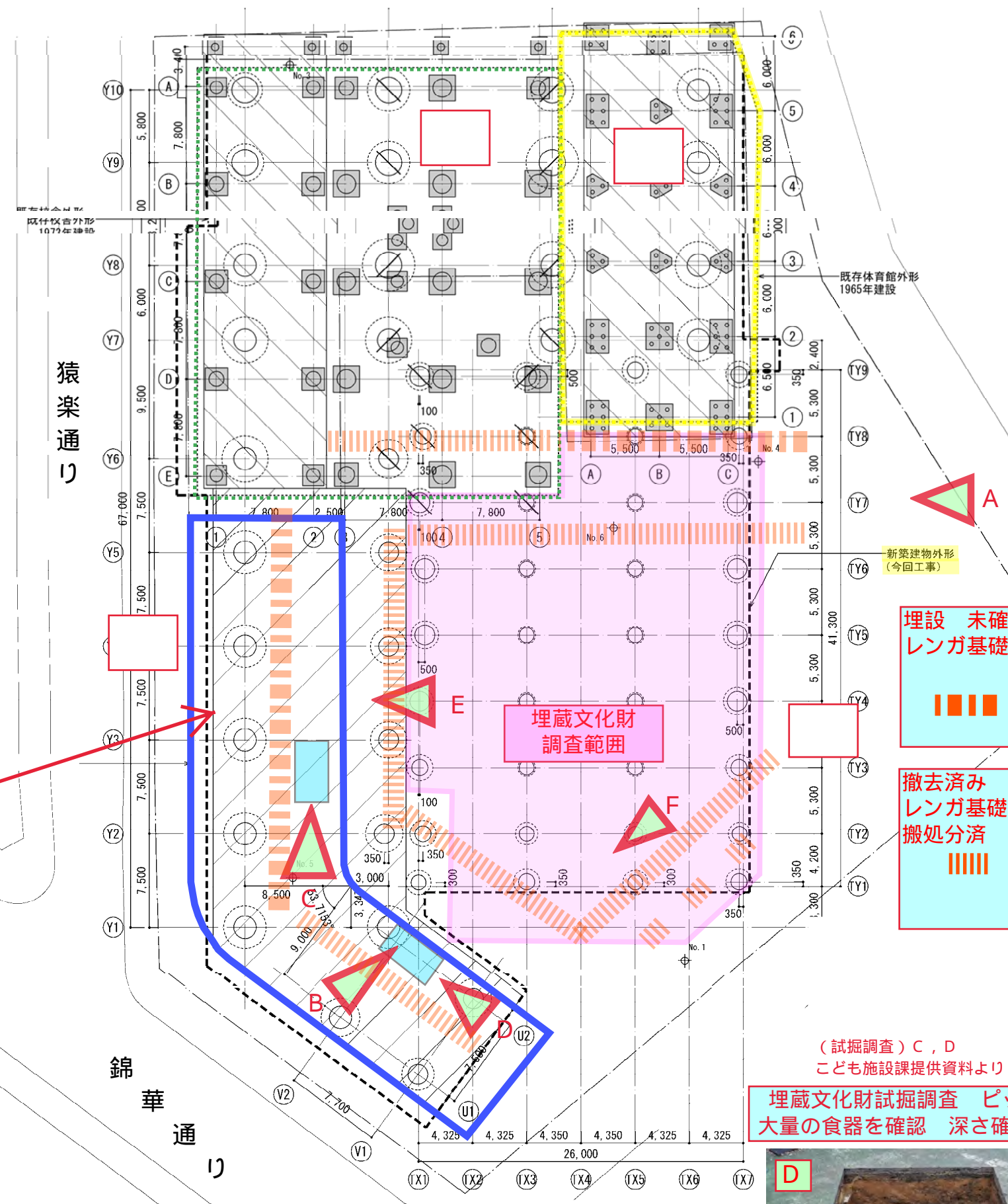
(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和3年度 予算額	令和4年度 見込額	令和5年度 見込額	見込額の考え方
みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます				
防災意識の普及・啓発	25	12	12	令和3年度はハザードマップの更新及び全戸配布を含んでいます
防災センター管理運営	14	14	14	引き続き、防災センターの管理運営を行います
区民の参画・協働と開かれた区政を実現します				
SNSを活用した情報発信の強化	7	2	2	令和3年度は運用・保守経費に加えシステム開発費を含んでいます
質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します				
全庁LANの運営	1,573	2,121	1,236	令和5年度の新システム運用開始に向けて構築を進めます
総合住民サービスシステムの運営	857	—	—	令和3年度の調査・検証に基づき、新システムの構築を進めます
総合行政システムのリプレース	34	350	150	令和5年度の新システム運用開始に向けて構築を進めます
デジタル化の推進に向けた調査検討	64			令和3年度完了

# お茶の水小学校・幼稚園の施設整備について

教育委員会資料  
令和3年2月24日  
子ども施設課

- 大正元年 木造3階建て (1916)  
校舎 1925 焼失
- 昭和元年 RC3階建て (1925)  
校舎 1973 解体
- 昭和40年 RC3階建て (1965)  
屋内体育場 兼 講堂 2020 解体
- 昭和48年 RC5階建て (1973)  
校舎 2020 解体



埋蔵文化財発掘調査中 R2.7月

埋設 未確認  
レンガ基礎  
|||||

撤去済み  
レンガ基礎運  
搬処分済  
|||||



(試掘調査) C, D  
子ども施設課提供資料より

埋蔵文化財試掘調査 ピット7  
大量の食器を確認 深さ確認不可

埋蔵文化財試掘調査 ピット6  
R1.11月



////で示す範囲は着工後ただちにGL-1.5m程度まで掘削する。既存杭等の地中障害が発覚した場合は、対処方法について監理者と協議のうえ対処すること。



いじめ、不登校、適応指導教室の状況(令和3年1月末の報告)

教育委員会資料  
令和3年2月24日  
指導課

校種	学年	いじめ報告数			不登校者数			適応指導教室利用者数	
		今月未解消	今年度解消(転出含)	今年度累計	今月不登校者	今年度学校復帰(転出含)	今年度累計	今月利用数	前月利用数
小学校	1年		1	1	2(+1)		2		
	2年		4	4	1		1		
	3年		1	1	4		4	1	1
	4年	1	1	2	6		6		
	5年		7	7	4		4	1	1
	6年	3	8	11	12		12	5	5
中・中等(前期)	1年		1	1	12(+3)		12	4(+1)	3
	2年	2		2	17		17	3	3
	3年	1		1	20		20		
中等(後期)	4年				4(+1)		4	/	/
	5年				1		1		
	6年				8		8		
計	合計	7	23	30	91(+5)		91	14(+1)	13

# 教育委員会行事予定表

教育委員会資料  
令和3年2月24日  
子ども総務課

月	日	曜	時刻	行事(事業名)	場所等	出席者等
2	24	水	15:00~	教育委員会定例会 ◎	区役所(教育委員会室)	教育委員出席
2	25	木				
2	26	金				
2	27	土				
2	28	日				
3	1	月				
3	2	火				
3	3	水				
3	4	木				
3	5	金				
3	6	土	10:00~	九段中等教育学校卒業式	九段中等教育学校	
3	7	日	10:00~	神田一橋中学校通信教育課程卒業式		
3	8	月				
3	9	火	15:00~	教育委員会定例会 ◎	区役所(教育委員会室)	教育委員出席
3	10	水				
3	11	木				
3	12	金				

# 教育委員会行事予定表

月	日	曜	時刻	行事(事業名)	場所等	出席者等
3	13	土	10:00~ 14:00~	保育園卒園式 新入生ガイダンス	九段中等教育学校	
3	14	日				
3	15	月				
3	16	火				
3	17	水				
3	18	木	10:00~	幼稚園・こども園修了式 ※九段幼稚園のみ10:30~		
3	19	金	10:00~ 10:30~	麴町中学校卒業式 神田一橋中学校卒業式		
3	20	土				
3	21	日				
3	22	月				
3	23	火	15:00~	教育委員会定例会 ◎	区役所(教育委員会室)	教育委員出席
3	24	水				
3	25	木	10:00~	小学校卒業式		
3	26	金				
3	27	土				
3	28	日				
3	29	月				
3	30	火				
3	31	水	未定	教育委員会臨時会 ◎	区役所(教育委員会室)	教育委員出席

「広報千代田」  
3月5日号広報原稿一覧

子ども部・地域振興部（文化振興課、生涯学習・スポーツ課） 16件

課	件名	事業の概略	とき	会場	主催者
			開催日・開催期間	住所は区立施設以外のみ記入	区以外が主催のとき
1	子ども支援課 私立幼稚園等幼児教育無償化にかかる利用費等の請求について	【1】子育てのための施設等利用費 【2】私立幼稚園等園児保護者負担軽減事業	申請受付 4月1日～30日		
2	児童・家庭支援センター 子育てサポートが受けられる利用会員登録説明会	自宅へ子育て・家族支援者を派遣し、宿泊や病後児の保育なども行う、千代田子育てサポート事業の利用会員登録説明会。	3月26日(金) 10時30分～ 11時30分	あい・ぽーと麹町 (三番町7)	NPO法人 あい・ぽーとステーション
3	文化振興課 まちかどアート	「3331絵画クラブ」受講生の絵画作品をパネル展示	3月16日～3月19日	九段生涯学習館	
4	文化振興課 四番町図書館 おはなし会	毎月開催している四番町図書館のおはなし会。	第1・第3金曜日15時30分～、毎週土曜日11時～	2階児童室	四番町図書館
5	文化振興課 図書フロア企画展示 「癒しをさがして」	「目で見ると癒し」、「読む癒し」など癒される本を紹介	1月19日(火)～5月14日(金)	日比谷図書文化館	日比谷図書文化館

6	生涯学習・スポーツ課	ゴルフ初心者講習会	18歳以上の区内在住・在勤者を対象としたゴルフ講習会	5月10日～6月28日 毎週月曜(5/17と 6/21を除く全6 回)18時30分～20 時30分	スポーツセンター	千代田区体育協会
7	生涯学習・スポーツ課	次世代区相撲指導者講習会	アマチュア相撲選手、千代田区相撲連盟所属者または所属希望者を対象とした相撲指導者講習会	4月～令和4年3月 の毎月第2土曜(全 12回)14時～17時	スポーツセンター 相撲場	千代田区体育協会
8	生涯学習・スポーツ課	千代田区剣道大会(個人)	剣道5段以下の区内在住・在勤・在学者を対象とした大会	6月13日(日)9時～	スポーツセンター	千代田区体育協会
9	生涯学習・スポーツ課	卓球教室1期	中学生を除く15歳以上の方を対象に、卓球教室を開催する。	4月5日～5月24日 の毎週月曜日 (4/19, 5/3・5/17 を除く全5回) 入門・初心者クラ ス:10～11時、中 級者クラス:13～ 14時	スポーツセンター	スポーツセンター
10	生涯学習・スポーツ課	エアロビクス	中学生を除く15歳以上の方を対象に、エアロビクス教室を開催する。	4月14日～6月9日 の毎週水曜日(5/5 を除く全8回)10時 ～11時	スポーツセンター	スポーツセンター
11	生涯学習・スポーツ課	はじめてのバレエエクササイズ	中学生を除く15歳以上の方を対象に、エクササイズ教室を開催する。	4月4日～5月23日 の毎週日曜日(全8 回)13時30分～14 時30分	スポーツセンター	スポーツセンター

12	生涯学習・スポーツ課	リズムシェイプアップ&チビッコ体操	中学生を除く15歳以上の方および3歳以上の未就学児を対象に、体操教室を開催する。	4月7日～6月16日の毎週水曜日(5/5を除く全10回)14時30分～15時30分	スポーツセンター	スポーツセンター
13	生涯学習・スポーツ課	キッズダンス(幼児・小学生クラス)	4歳以上の未就学児または小学生を対象に、ダンス教室を開催する。	4月6日～6月8日の毎週火曜日(5/4を除く全8回) 幼児クラス：15時～15時50分、小学生クラス16時15分～17時5分	スポーツセンター	スポーツセンター
14	生涯学習・スポーツ課	ちよだキッズスポーツ塾	小学生を対象にスポーツ教室を開催する。	4月21日～6月16日の毎週水曜日(5/5を除く全8回)16時～16時50分	スポーツセンター	スポーツセンター
15	生涯学習・スポーツ課	講座・講習会バウチャー制度令和2年度の申請は3月16日(火)20時まで	バウチャー制度は、講習・講座補助金の申請期限を周知する。			九段生涯学習館
16	生涯学習・スポーツ課	東京2020聖火リレー 千代田区聖火リレーボランティアを募集!	区内の聖火リレーの運営を行うため、「千代田区聖火リレーボランティア」を募集する。	募集期間 3月5日～4月30日	東京2020聖火リレールート(区内)	組織委員会、東京都聖火リレー実行委員会